

# 明王台学区まちづくり計画

～つながろう明王台！～



2016.2.27～28「空からは～い! 明王台!!」より

明王台学区まちづくり推進委員会



# つながろう明王台！

## 明王台学区まちづくり計画

2014年9月に明王台学区全戸を対象に実施した「明王台学区まちづくりアンケート」の集計を基に、まちづくり推進委員会で検討を重ね、「明王台学区まちづくり計画」を策定しました。

これからのまちづくりは、キャッチフレーズにもあるように、一人ひとりがつながっていることが重要です。

「まちづくりは、人づくり」とも言われるように、住民の皆さんが参加され、協力していただくことで、初めて協働のまちづくりができると思います。

明王台学区のさらなる発展をめざし、現在考えられる課題毎に作成した「明王台学区まちづくり計画」の実施プランにより、2016年度から、短期、中期、長期的に事業を推進してまいりたいと思っております。

よりよい明王台学区になりますよう、一人でも多くの皆様の「まちづくり」への参加を、お待ちしております。

2016年(平成28年)4月17日

明王台学区まちづくり推進委員会

委員長 寺岡稔博

## 語句の説明

### ① 計画の期間(2016年度開始)(※7ページ参照)

**短期** :1～2年

**中期** :3～4年

**長期** :5年以上、継続していく事業

※計画中の **短期・中期・長期** は早期に取り組み、継続的に取り組んで行こうとする事業です。また、現在も取り組んでいて今後も継続する事業です。

**短期・中期** についても同様です。

### ②「協働のまちづくり」とは

地域住民一人ひとりが、まちづくりの主役として、個々の特色や個性を活かし、お互いに責任と役割を分担しながら自主・自立のまちづくりをめざす取り組みをいいます。

### ③「まちづくり推進委員会」とは

地域の皆さんが身近な地域課題を考え、解決に向けた取り組みを進めていくうえで、中心的な役割を担う組織です。つまり、この「明王台学区まちづくり計画」実施の中心的な役割を担う組織であるといえます。

現在、地域活性部会と健康福祉部会という二つの専門部会を設け、地域課題の解決や各種ふれあい事業を実施しています。

## まちづくり計画の活動内容の決定

明王台学区まちづくり計画として取り組む活動は、「明王台学区まちづくりアンケート」の集約結果に基づいたものです。

明王台学区の住民全員で今後取り組むべきものとして次の項目を挙げています。

- ◎人と、ひとのつながりを深める
- ◎教育・子育て環境の充実
- ◎高齢者・障がい者支援
- ◎防災活動
- ◎防火防犯の充実
- ◎環境美化

これらの事業を進めるには、人権尊重を基底としたまちづくりでなければなりません。そのため要望数としては少ないものの、「◎人権尊重のまちづくり」も取り組み項目としました。

## 明王台学区の皆様にお願ひすること

「地域のために1日、それがダメなら1時間、それも無理なら1%の力を！」

各種団体の役員さんは、日々頑張っておられます。1年を通してそれぞれの役割を果たされ、様々なイベント、或いは会合と、学区のために奮闘されています。

学区の皆様にも、より良い明王台学区まちづくりに1%の力を発揮していただくよう、願ひします。たとえ1%でも、皆が出し合えば凄いパワーとなります。「今日1日、1時間、1%だけでもやってみよう」こう思う気持ちが大事です。きっと、活力があり、魅力あるまちができると思います。

《まちづくりへの意見や提言を願ひします。まちづくり推進委員会まで》

## 明王台学区の今

1987年、国宝明王院、草戸稲荷の後背地に住宅団地として切り開かれた明王台は順調に発展してきました。その後、東明王台も整備され、現在の明王台学区は1,400世帯を超える、市内有数の住宅団地となりました。

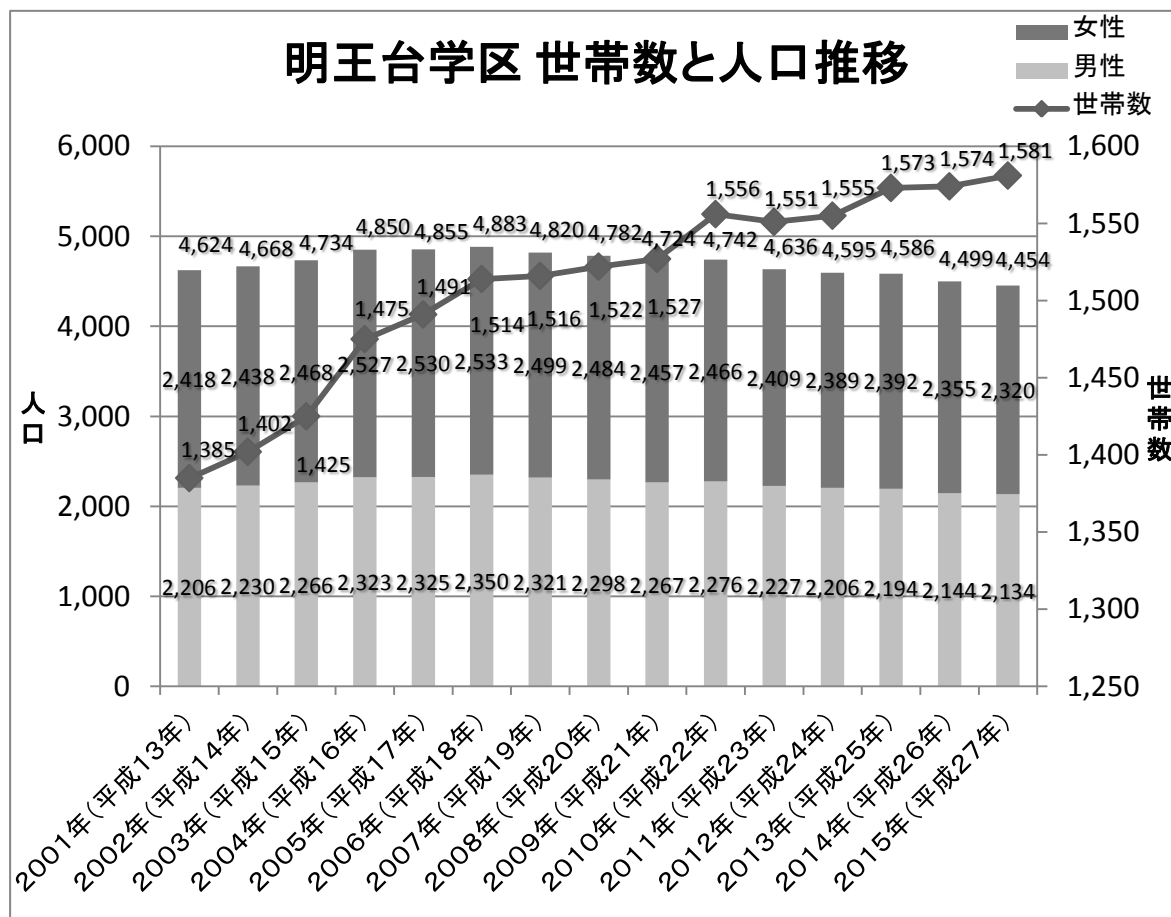
この間、明王台高校や明王台小学校の開校、明王台公民館の開設など、教育環境の充実、併せて利便施設も整備されてきました。

こうした中であって、少子高齢化・人口減少が全国的に顕在化してきました。このことは明王台学区にあっても例外ではありません。これからのまちづくりは、「少子高齢化」にどう向き合い、どう対応するかも考えていかなければなりません。

計画策定にあたり、明王台学区の現状について、特に、世帯数・人口の推移に注目しました。今後の明王台学区はどのようなになるのか、世帯数・人口のグラフを示します。

**グラフ1** は、明王台学区の世帯数と人口の推移です。世帯数は増え続けていますが、人口は2006年の4,883人をピークに減少に向かい、2015年には4,454人となっています。

**グラフ1**



グラフ2 は、明王台学区の年代別人口の比較です。

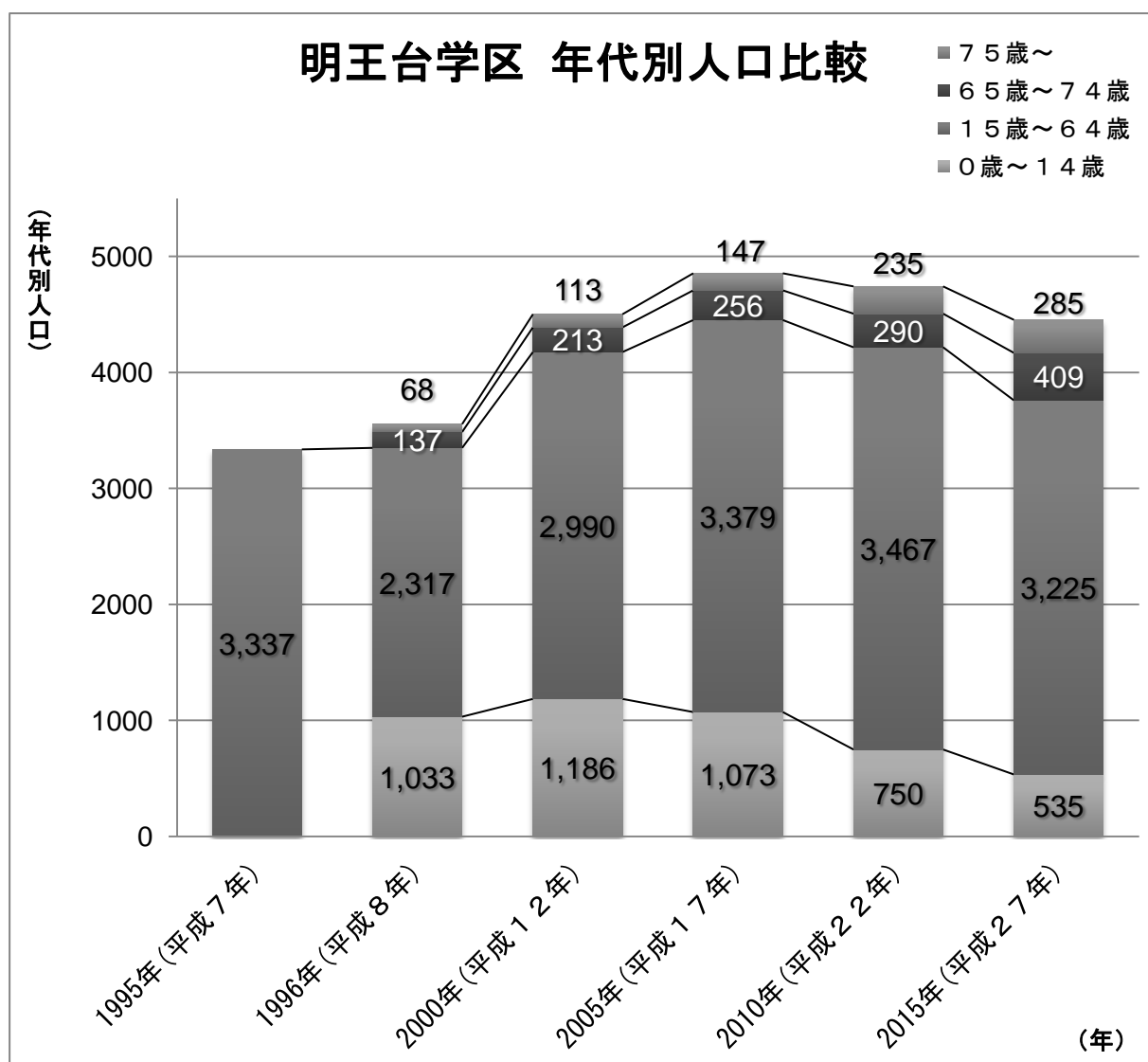
1996年に1,033人いた0歳～14歳が2015年には535人と半減しています。逆に65歳～74歳の層と75歳以上の層が厚くなっています。

グラフを一見すると15歳～64歳のいわゆる現役の人たちが多数を占めているように見えますが、この層の大部分は近い将来65歳以上の層に移行するものと思われます。

このいわゆる現役の人たちは、明王台学区への居住歴も長く、子育ても終えて一段落とった状況かと思われます。

今後この世代の人たちが主役となって、まちづくりに積極的に参加されることを期待します。

グラフ2



グラフ3 は、明王台学区の世帯数と明王台小学校の児童数の推移を示したものです。

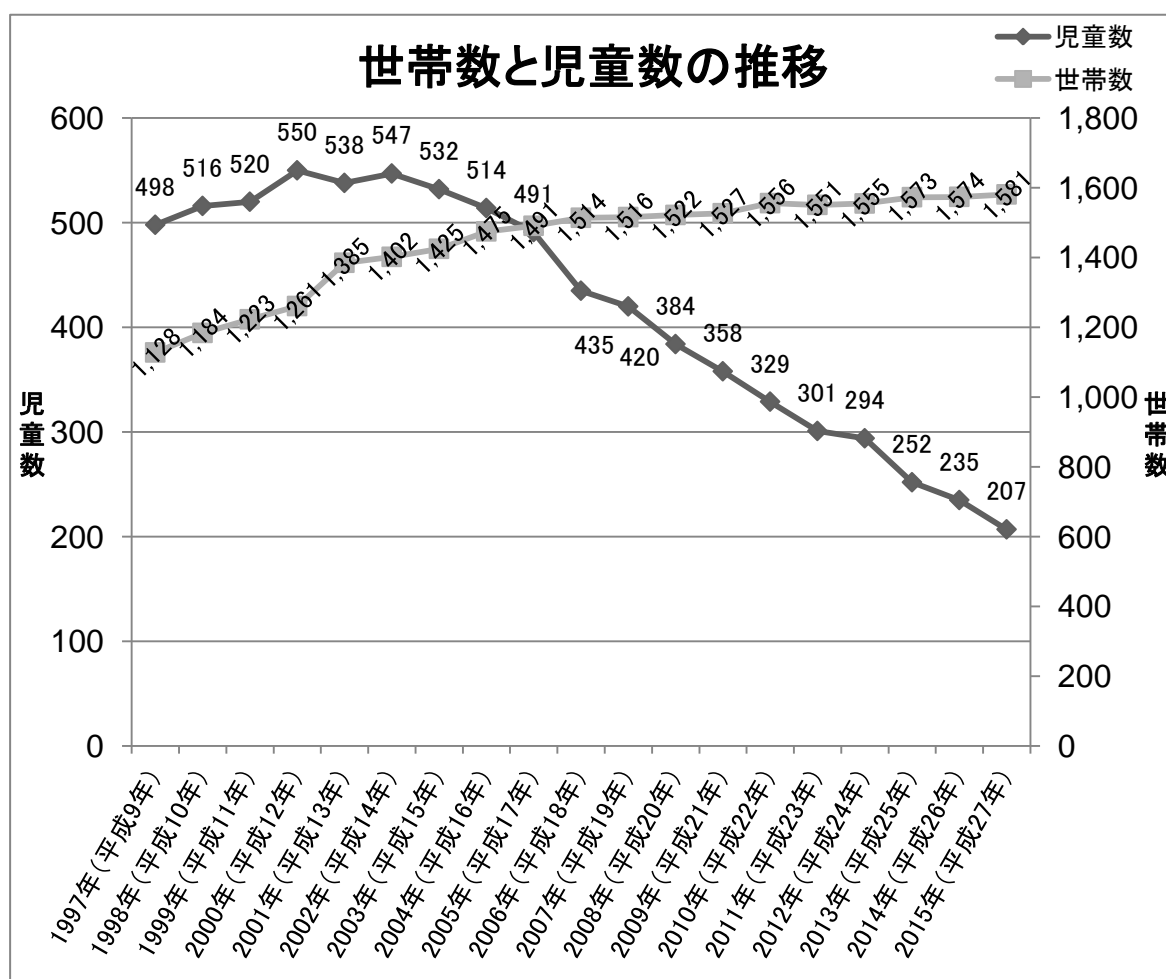
グラフ1 の人口の増減と近い傾向を示していますが、児童数の減少はさらに急激です。

2000年のピーク時には550人を数えた児童数は、2015年には207人となっており、少子化の波が確実に押し寄せています。

新興住宅街の宿命といえはそれまでですが、やはり小学校はまちのシンボルであり、子どもたちの笑顔は、まちを活性化させるものです。

明王台学区を巣立った子どもたちが、将来帰ってきたいと思える、魅力あるまちにすることが私たちの仕事ではないでしょうか。

グラフ3



グラフ1～グラフ3 から見えてくるのは、人口減少、少子高齢化の波は明王台学区にも確実に到来しているということです。

今後のまちづくりは、こういった状況を見据えて進めて行く必要があります。



## 福山と明王台の歴史

1916年(大正5年)	○深安郡福山町を廃し、市制施行して福山市となる。 人口32,356人・面積5.8平方キロメートル。
1917年(大正6年)	○福山市制施行記念日の制定論告, 市章を制定
1919年(大正8年)	○大水害
1920年(大正9年)	○第1回国勢調査(人口29,768人)
1922年(大正11年)	○熊野上水道水源池工事開始
1923年(大正12年)	☆佐波町城山の浄水場建設工事開始
1925年(大正14年)	○上水道が完成し給水開始
1927年(昭和2年)	○鞆安国寺釈迦堂国宝に指定(現在は国の重要文化財)
1930年(昭和5年)	○市庁舎・議事堂完成
1933年(昭和8年)	○深安郡川口・手城・深津・奈良津・吉津・木之庄・本庄村・沼隈郡神島・佐波・草戸村の10ヶ村を合併
1934年(昭和9年)	○鞆の浦, 瀬戸内海国立公園に指定
1936年(昭和11年)	☆神島橋完成
1942年(昭和17年)	○沼隈郡山手・郷分村を合併
1945年(昭和20年)	○福山空襲により市街地の約8割を焼失
1946年(昭和21年)	○コレラ大流行, 都市隔離の措置
1948年(昭和23年)	○市民館開館
1949年(昭和24年)	○とんど祭り復活
1953年(昭和28年)	☆明王院五重塔国宝に指定
1954年(昭和29年)	○福山～鞆間鞆軽便鉄道廃止
1956年(昭和31年)	○第1回ばら展示会開催 ○沼隈郡津之郷・赤坂・瀬戸・熊野村・鞆・水呑町・深安郡引野・市・千田・御幸村の10ヶ町村を合併
1959年(昭和34年)	○三川ダム完成, 貯水開始 ○市役所新庁舎完成
1960年(昭和35年)	○市立図書館・中央公民館完成
1961年(昭和36年)	○日本鋼管福山製鉄所立地決定調印
1962年(昭和37年)	○深安郡深安町を合併 ○明るい町づくり運動スタート
1963年(昭和38年)	☆移動図書館運行開始

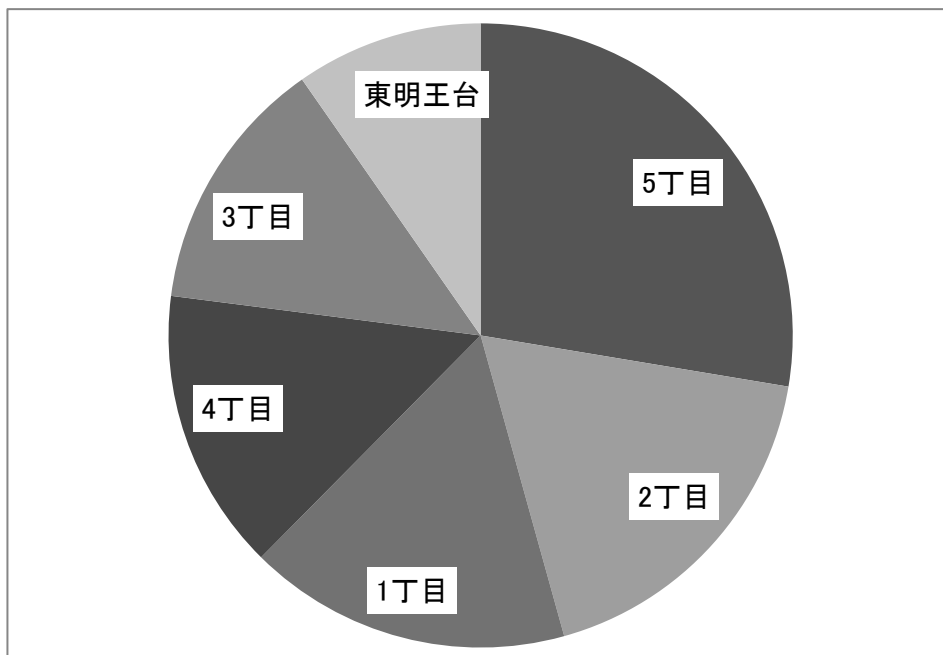
1964年(昭和39年)	☆明王院本堂国宝に指定
1966年(昭和41年)	○福山市と松永市が合併し新福山市誕生 ○福山城天守閣・月見櫓・湯殿完成(市制施行50周年事業)
1968年(昭和43年)	○第1回福山ばら祭開催
1971年(昭和46年)	○町内会連合会連絡協議会結成 ○第1回福山まつり開催(とんど祭り・夏まつり・港まつりを統合)
1973年(昭和48年)	☆福山市西部土地区画整理組合設立許可 ○市民図書館開館
1974年(昭和49年)	○芦品郡芦田町を合併
1975年(昭和50年)	○芦品郡駅家町・深安郡加茂町を合併
1977年(昭和52年)	○市民病院開院
1983年(昭和58年)	☆明王台造成開始
1985年(昭和60年)	○市の花に「ばら」を制定
1987年(昭和62年)	☆第一工区竣工(264区画) 以後順次竣工 分譲開始 ☆10月 第1回 住宅博
1988年(昭和63年)	☆広島県立明王台高等学校移転開校 ☆バス団地路線開通
1991年(平成3年)	☆スーパー 営業開始 ☆シャローム幼稚園 開園 ☆明王台クリニック 開院
1994年(平成6年)	○水道の時間断水(45日間)
1997年(平成9年)	☆明王台小学校 開校 ☆明王台公民館 開館 ○八田原ダム完成
2003年(平成15年)	○沼隈郡内海町、芦品郡新市町を合併 ○市の花に「キク」を追加
2005年(平成17年)	○沼隈郡沼隈町を合併 ○福山港国際コンテナターミナル運用開始
2006年(平成18年)	○深安郡神辺町を合併
2011年(平成23年)	○福山市立大学開学
2012年(平成24年)	○市立女子短期大学が閉学

# 明王台学区まちづくりアンケート調査 学区全体

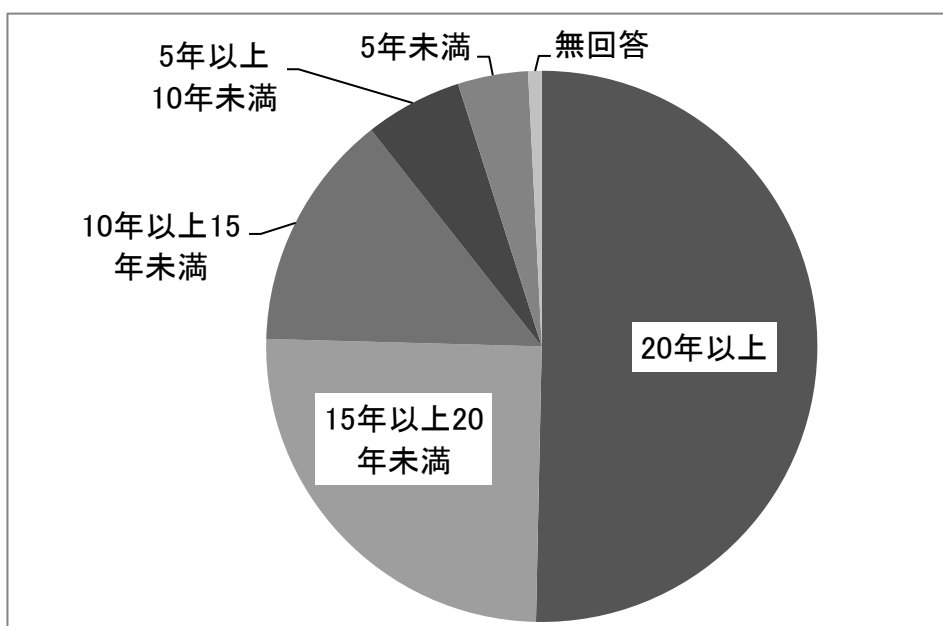
回収数 753 世帯 / 配布数 1466 世帯

## I 回答者について

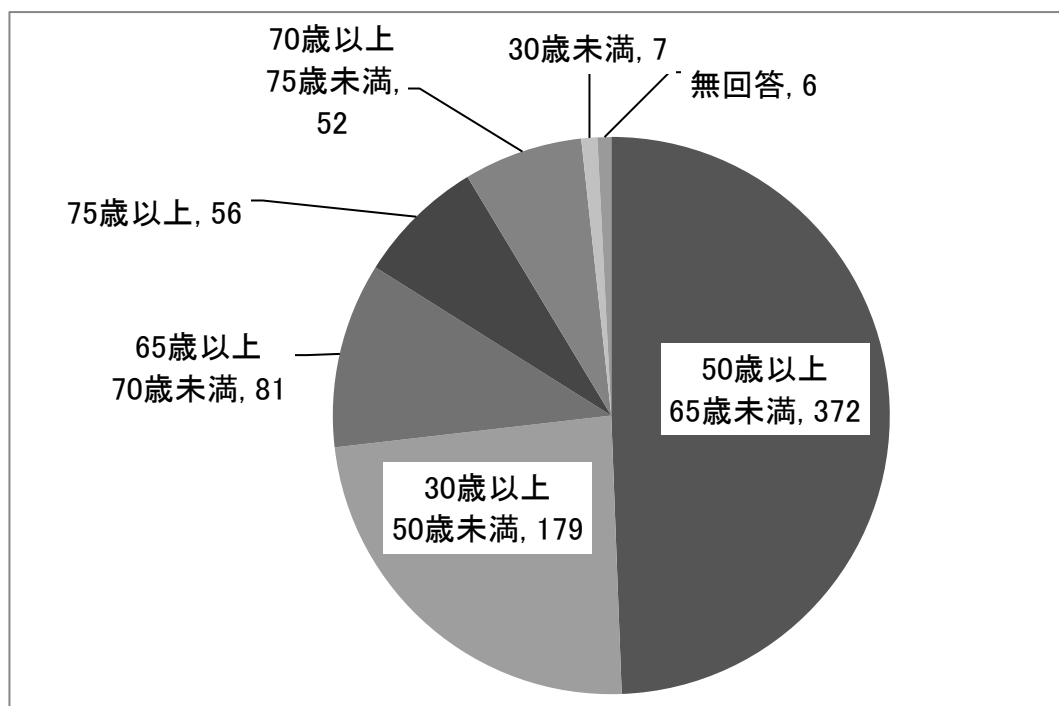
問1 現在お住まいの自治会はどこですか。



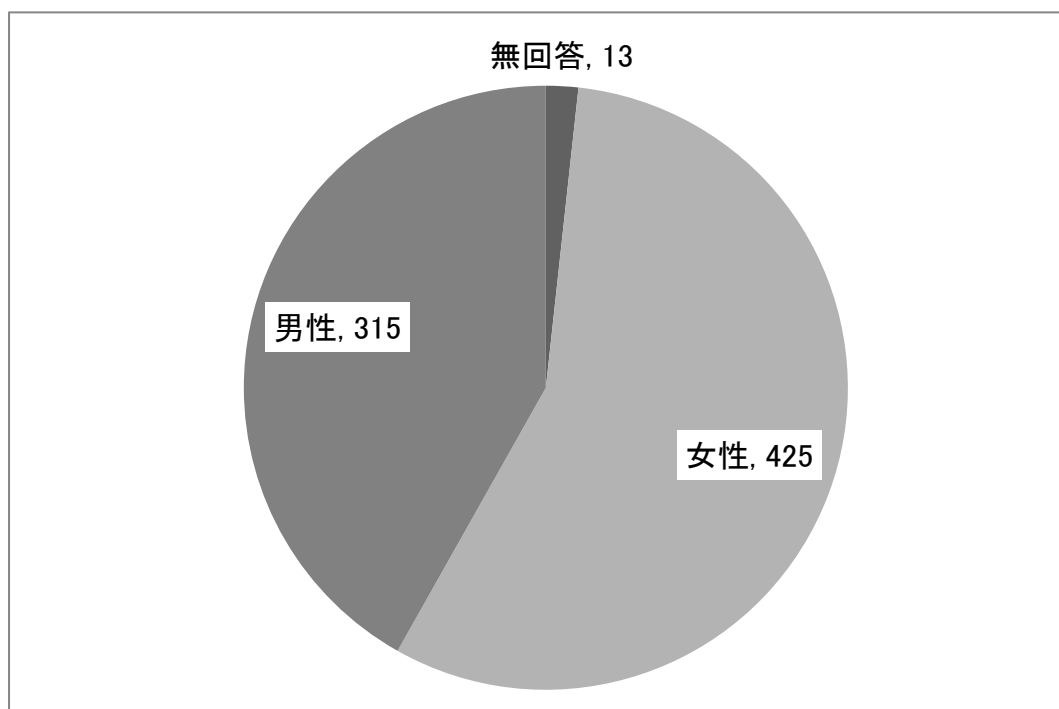
問2 明王台学区にお住まいになって何年ですか。 ※2014年(平成26年)10月1日現在



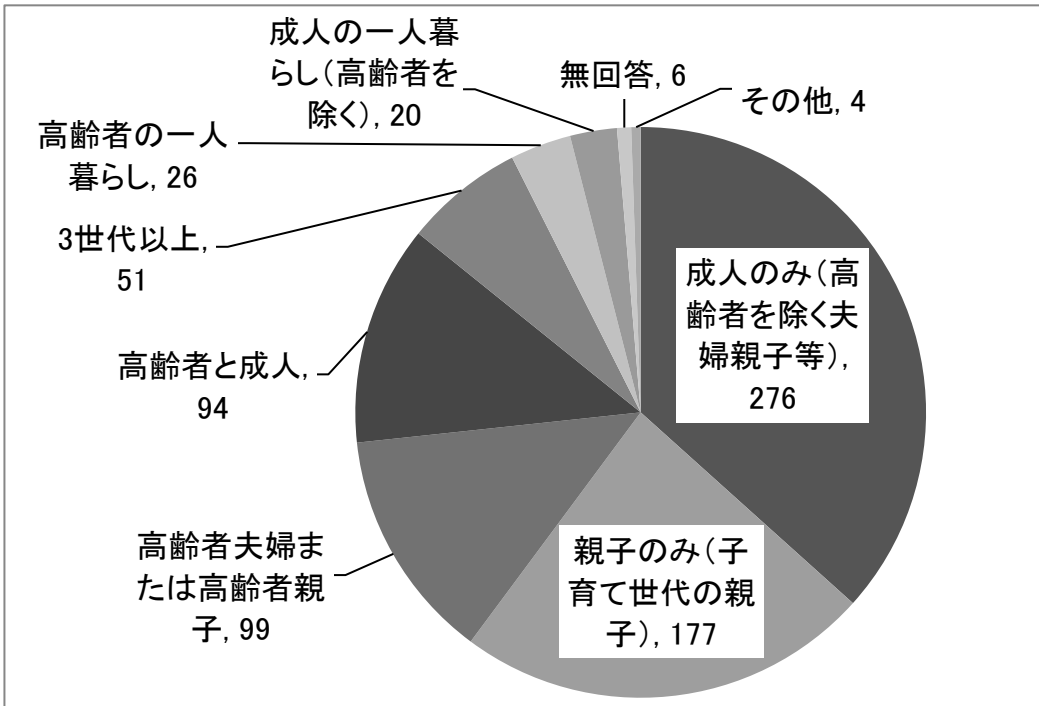
問3 あなたの年代は次のどれですか。



問4 あなたの性別は次のどちらですか。



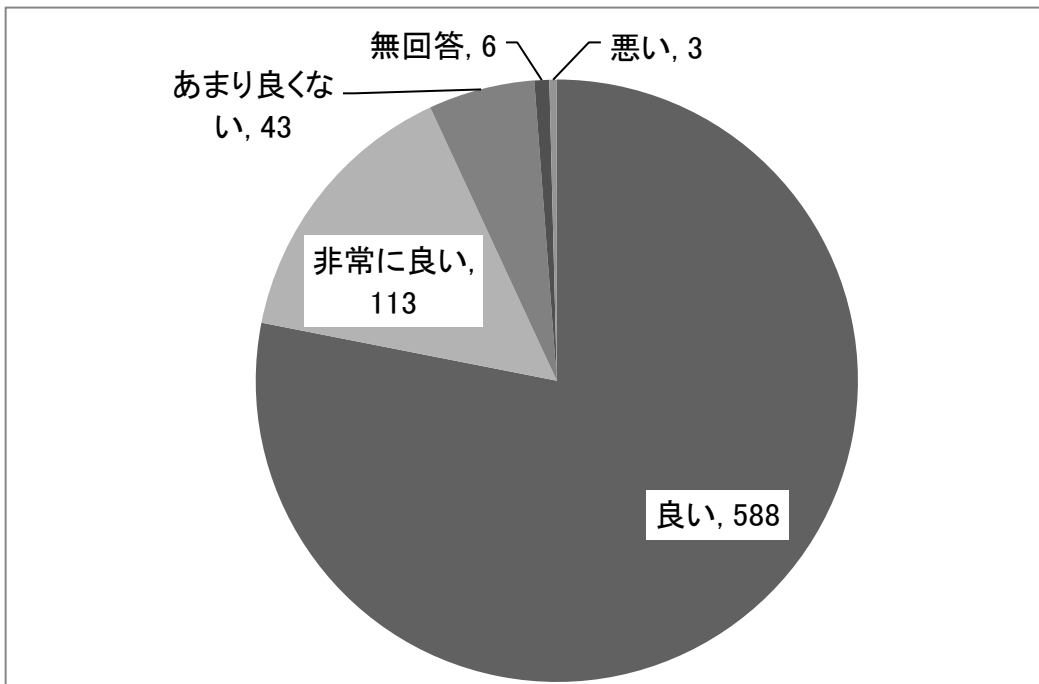
問 5 あなたの家族構成は次のどれですか。 ※高齢者とは 65 歳以上の方です。



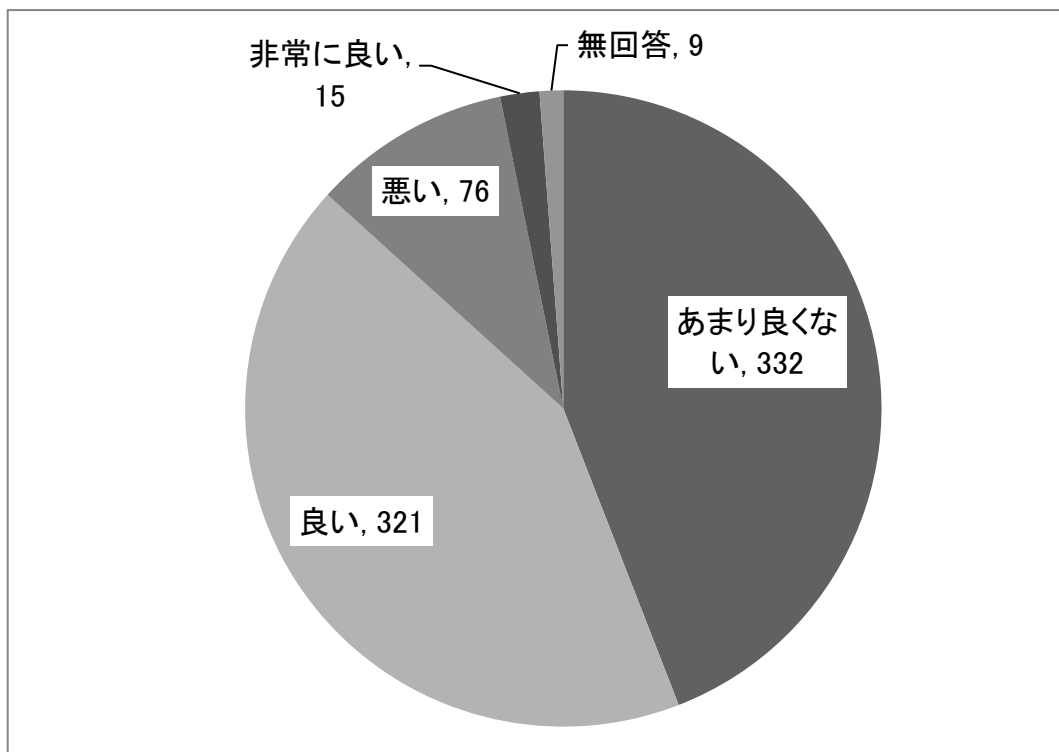
## II 明王台学区について

問 6 明王台学区の現状について

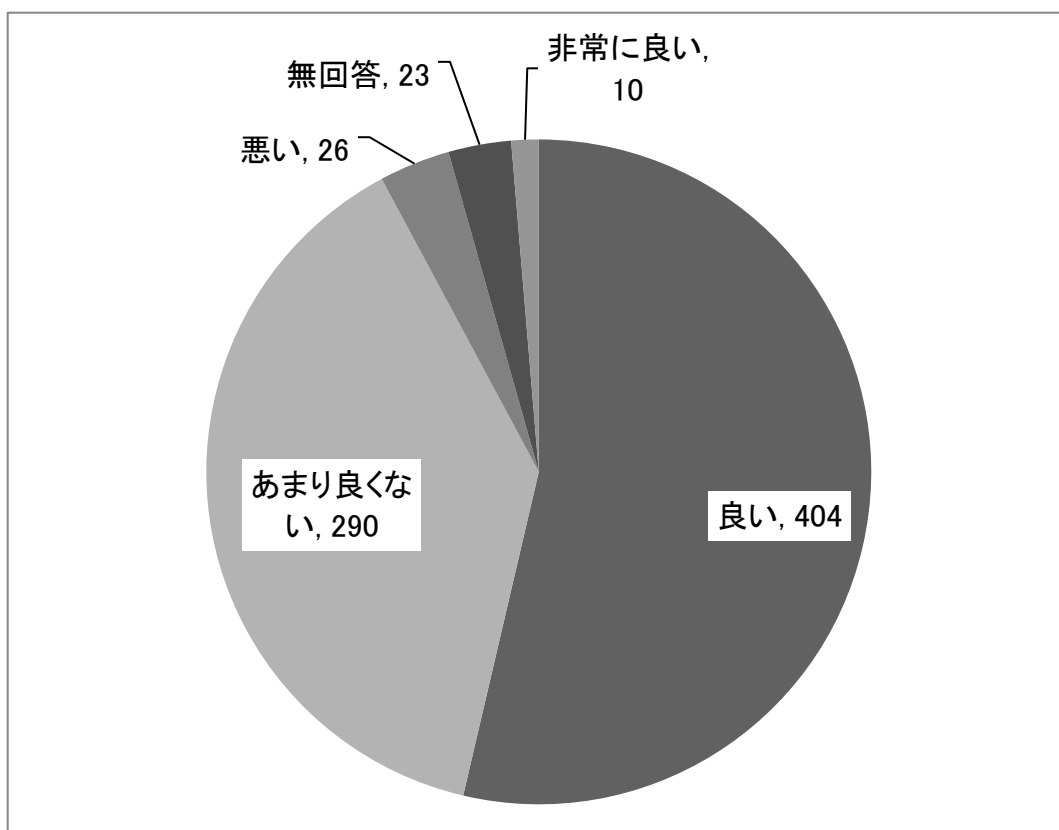
問 6-1 自然環境について



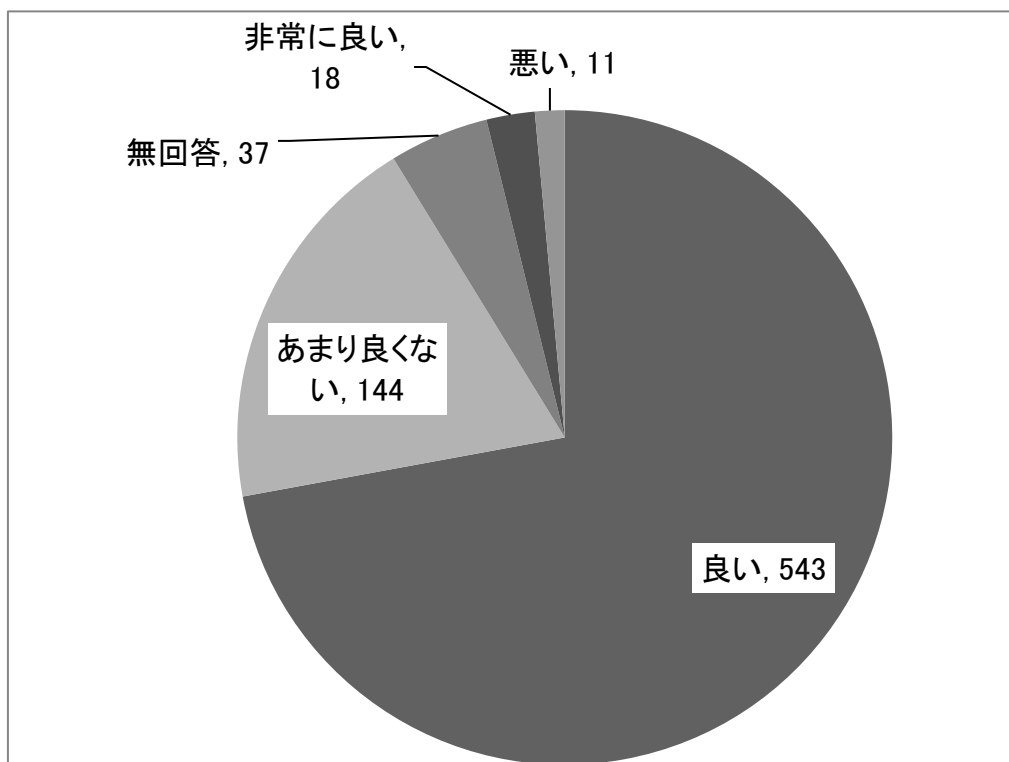
問 6-2 道路環境・交通の便について



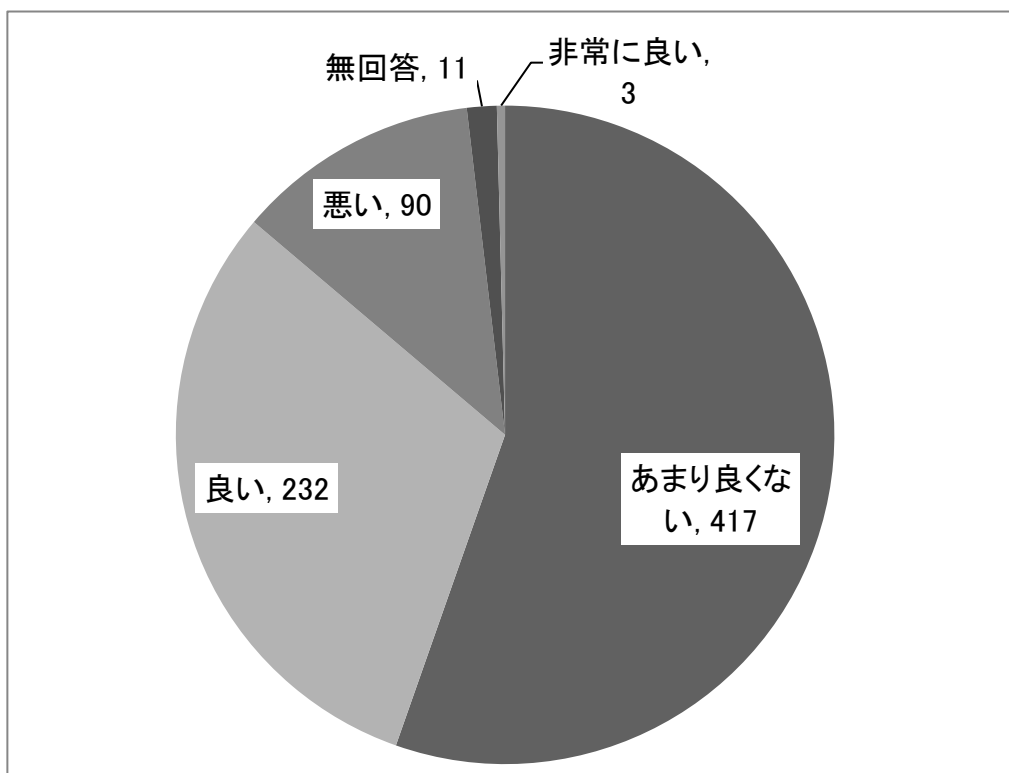
問 6-3 防犯について



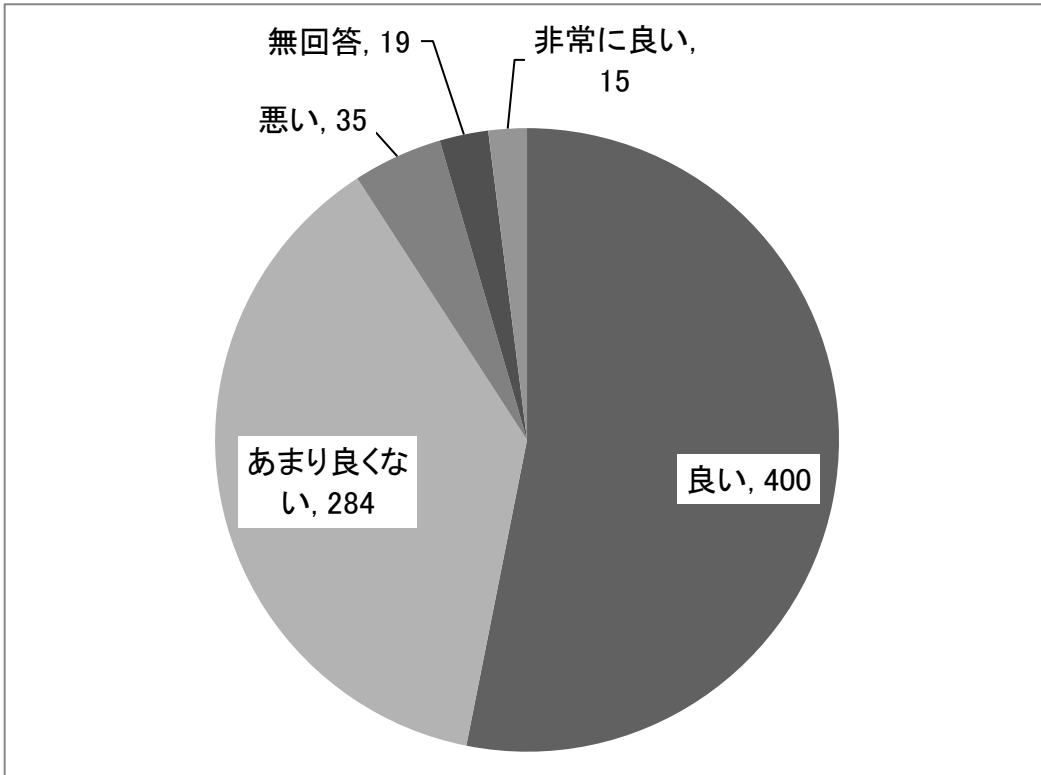
問 6-4 防災について



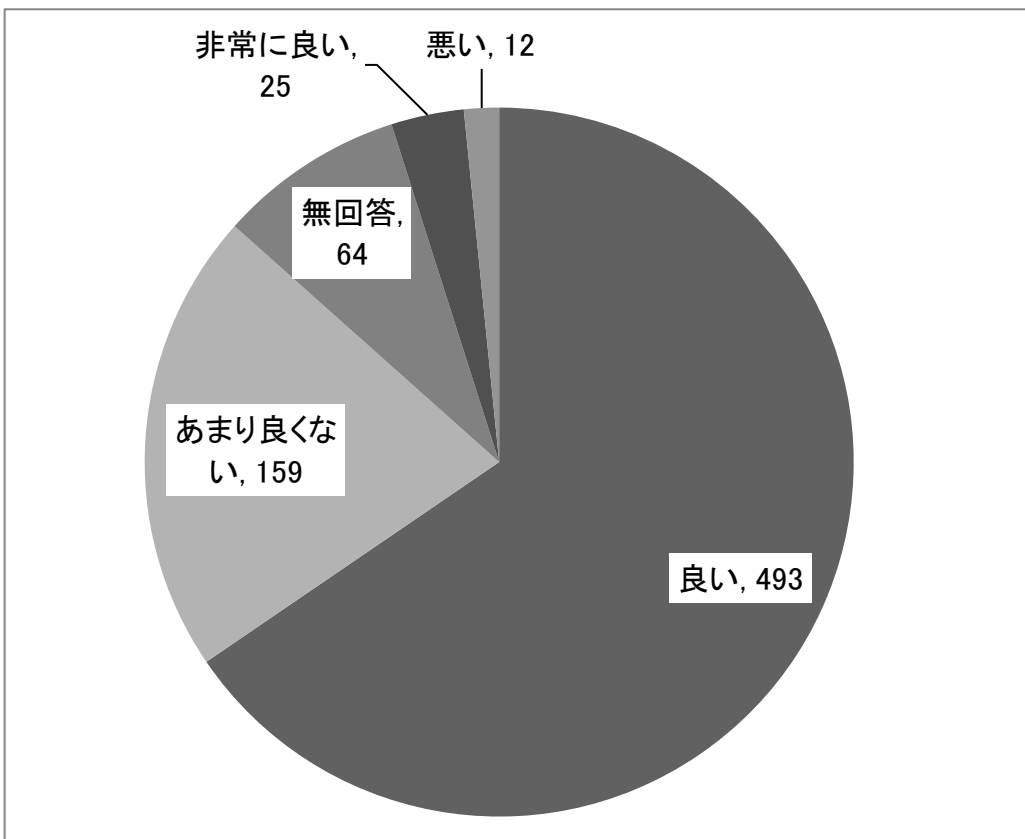
問 6-5 日常生活について（買い物・医療など）



問 6-6 近所づきあいについて（隣近所のつながりが強い）



問 6-7 子育て・教育環境について

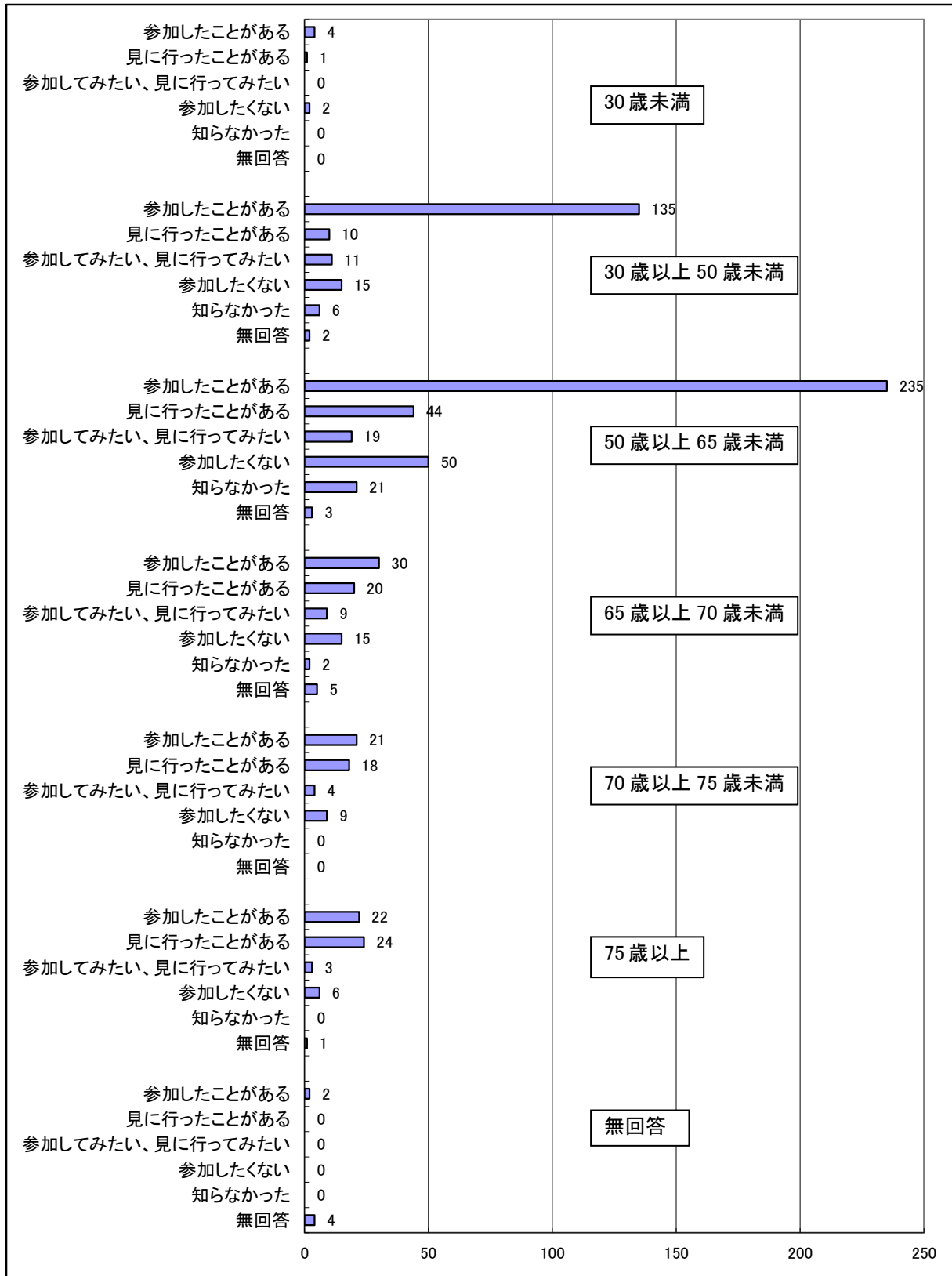




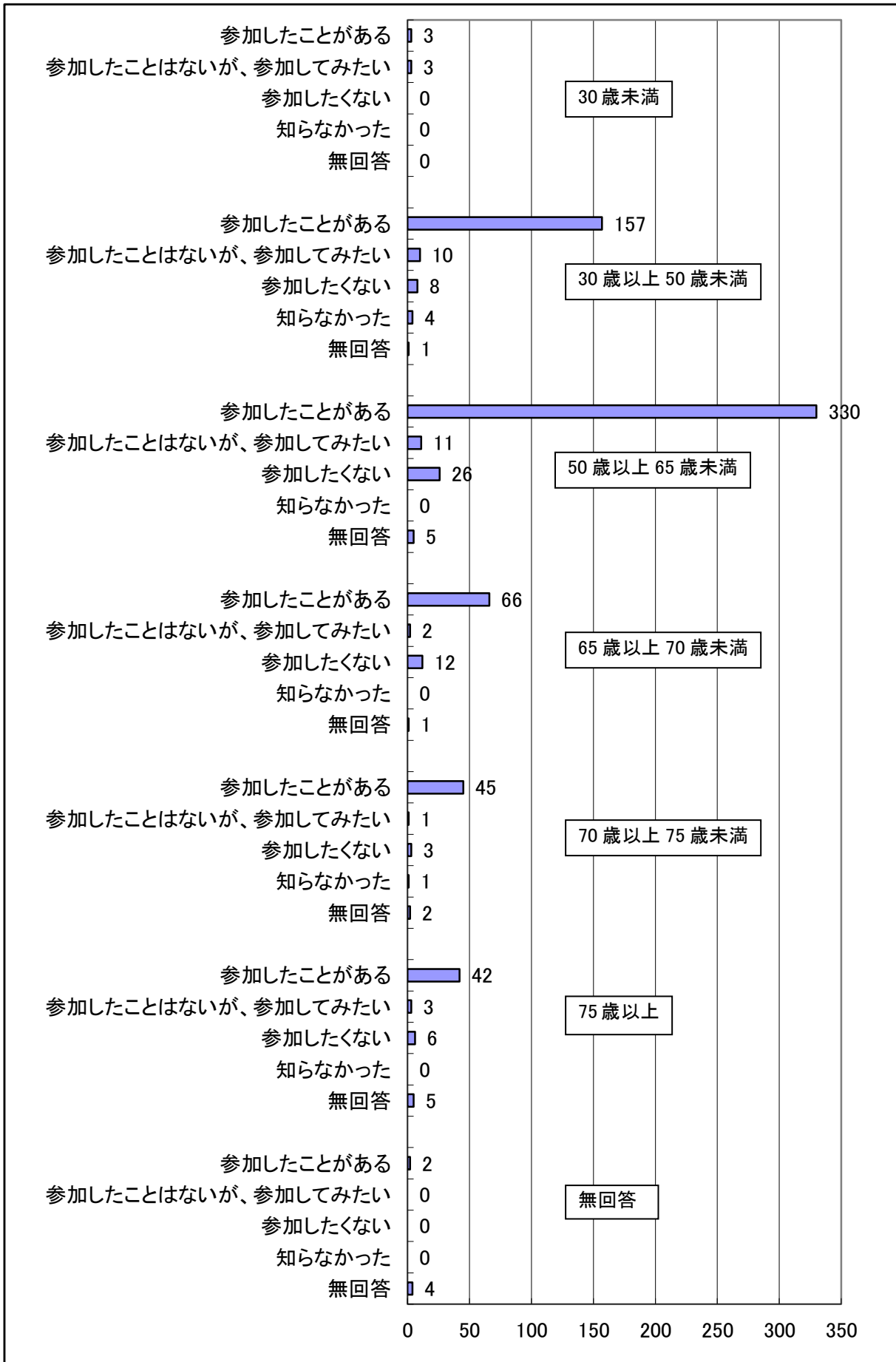
問 6-8 その他（各丁目の資料参照）

問 7 明王台学区が実施している事業について

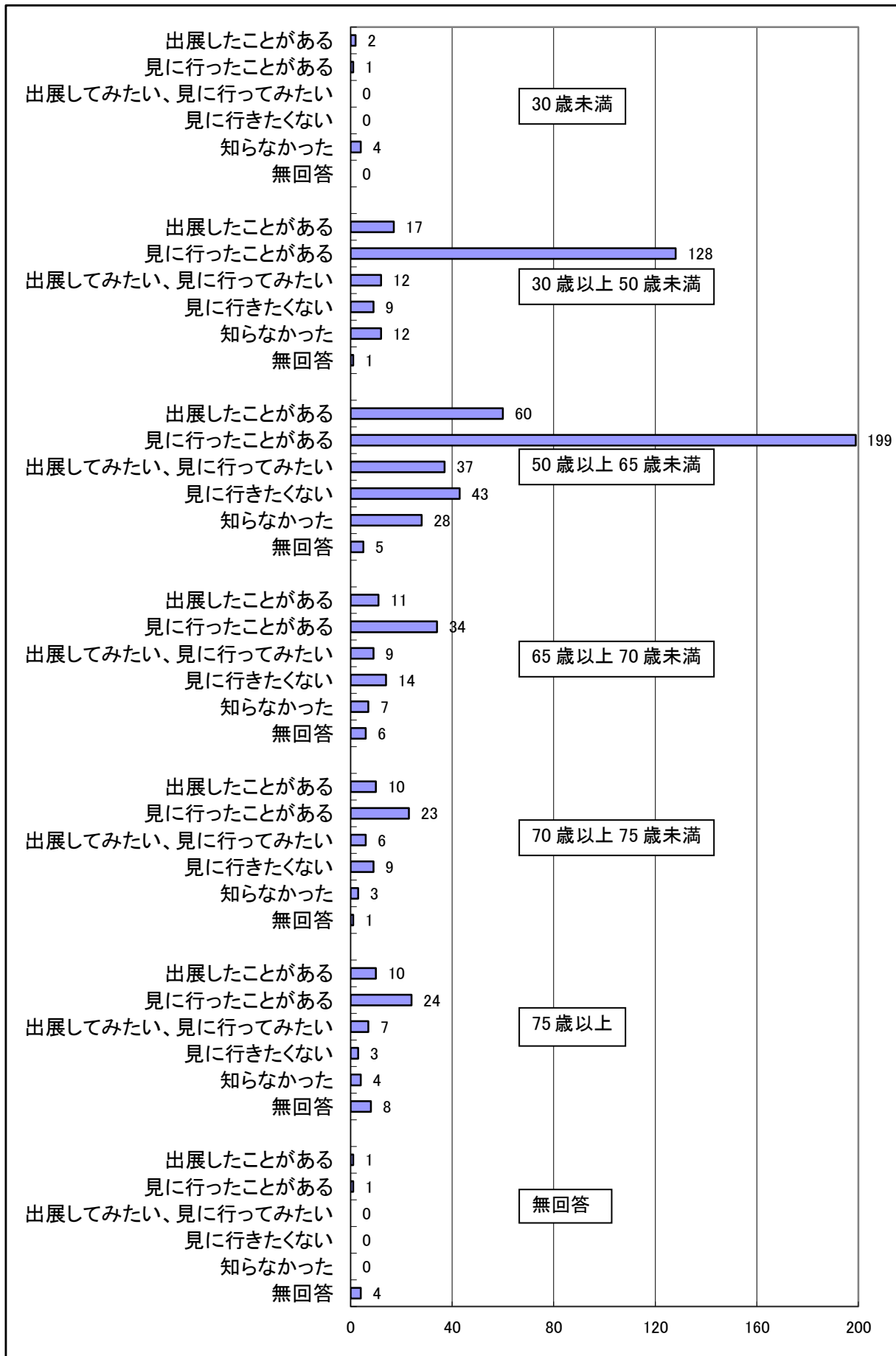
問 7-1 合同運動会について（2014 年度が初めて。それ以前は学区民運動会）



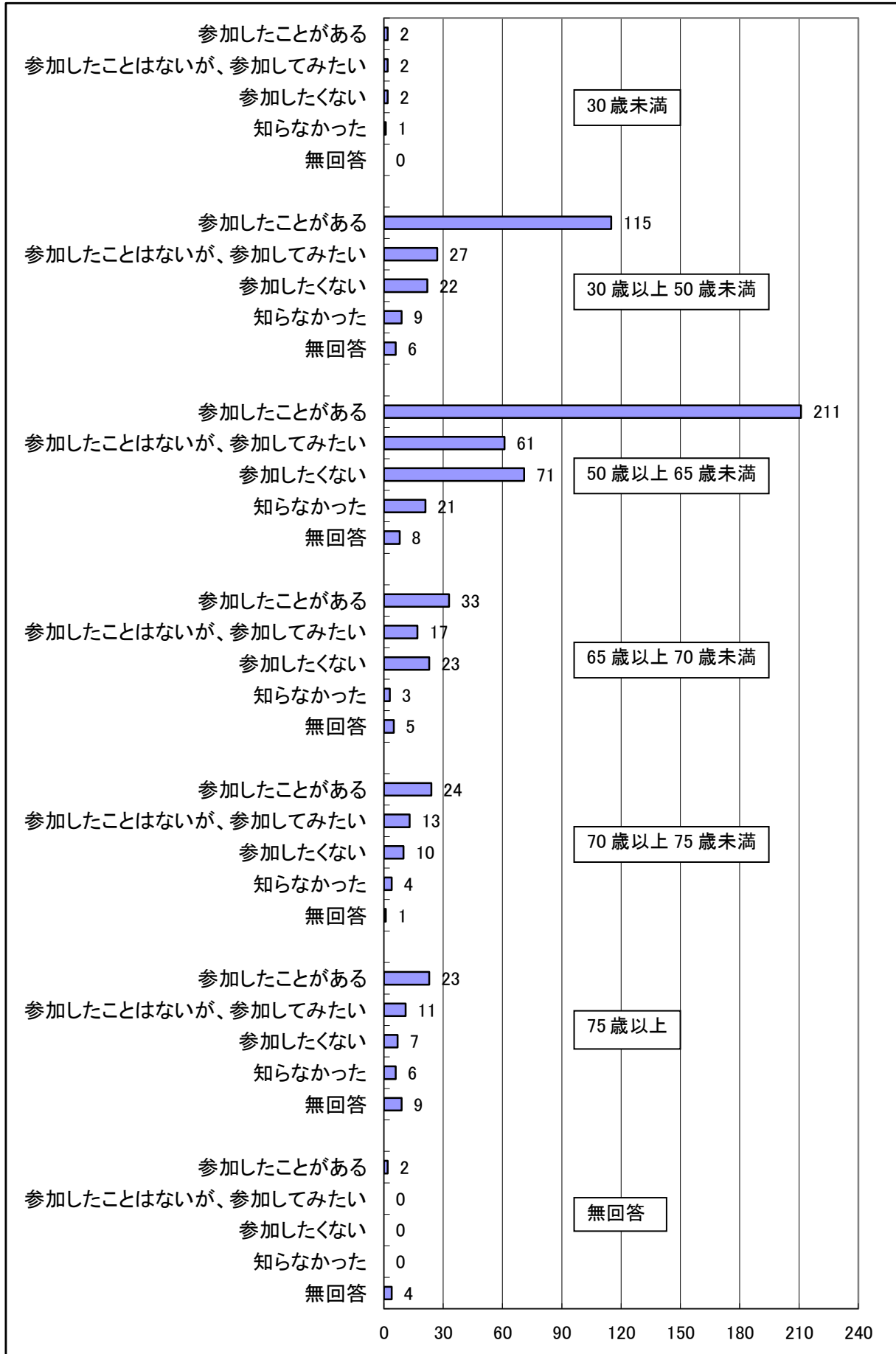
問 7-2 ふれあい夏祭りについて（2014 年度は 7 月 26 日(土)でした。）



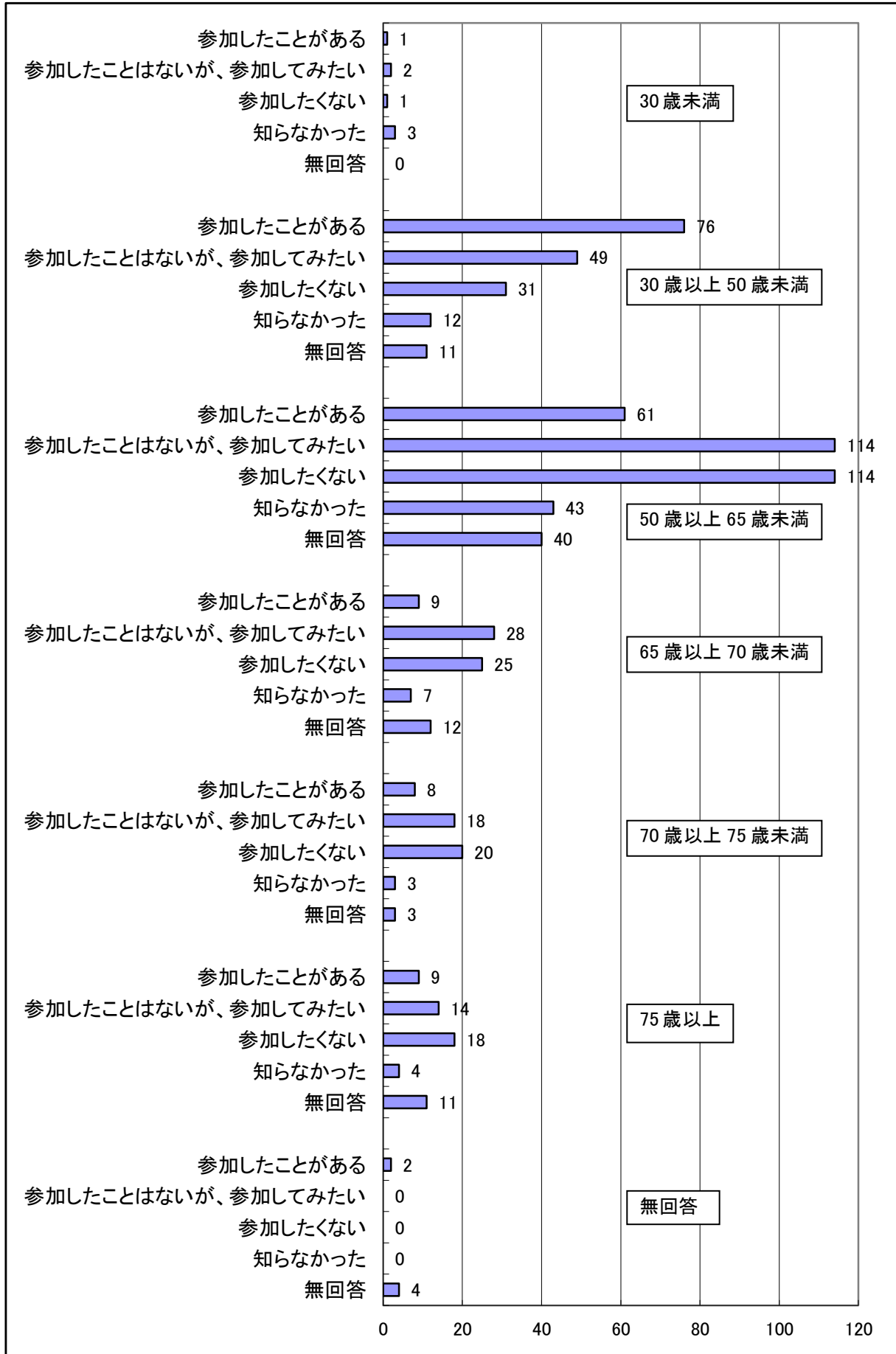
問 7-3 合同文化祭について (2014 年度は 11 月 8 日(土)9 日(日)でした。)



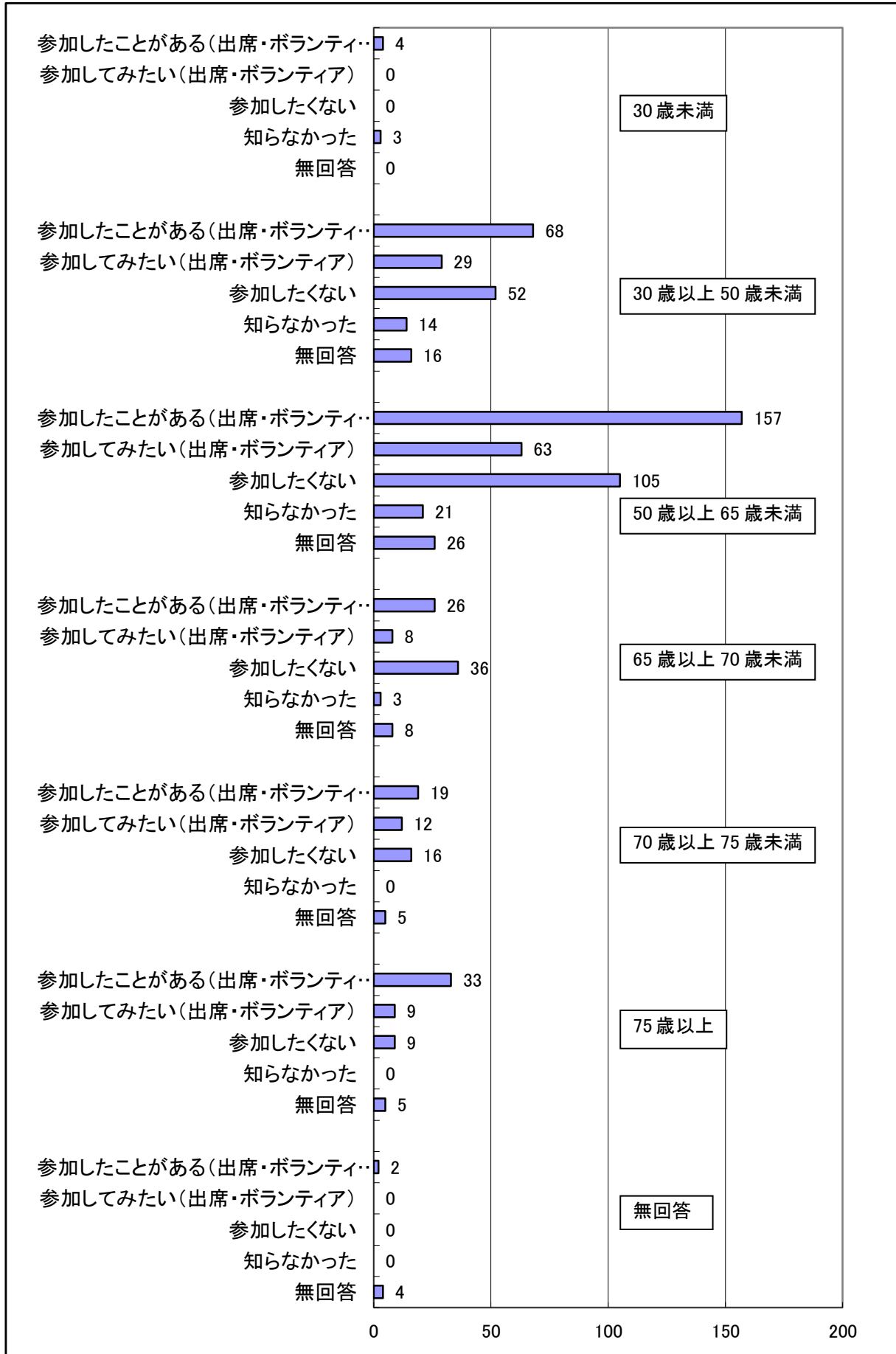
問 7-4 とんど祭りについて (2014 年度は 1 月 12 日(月・祭日)でした。)



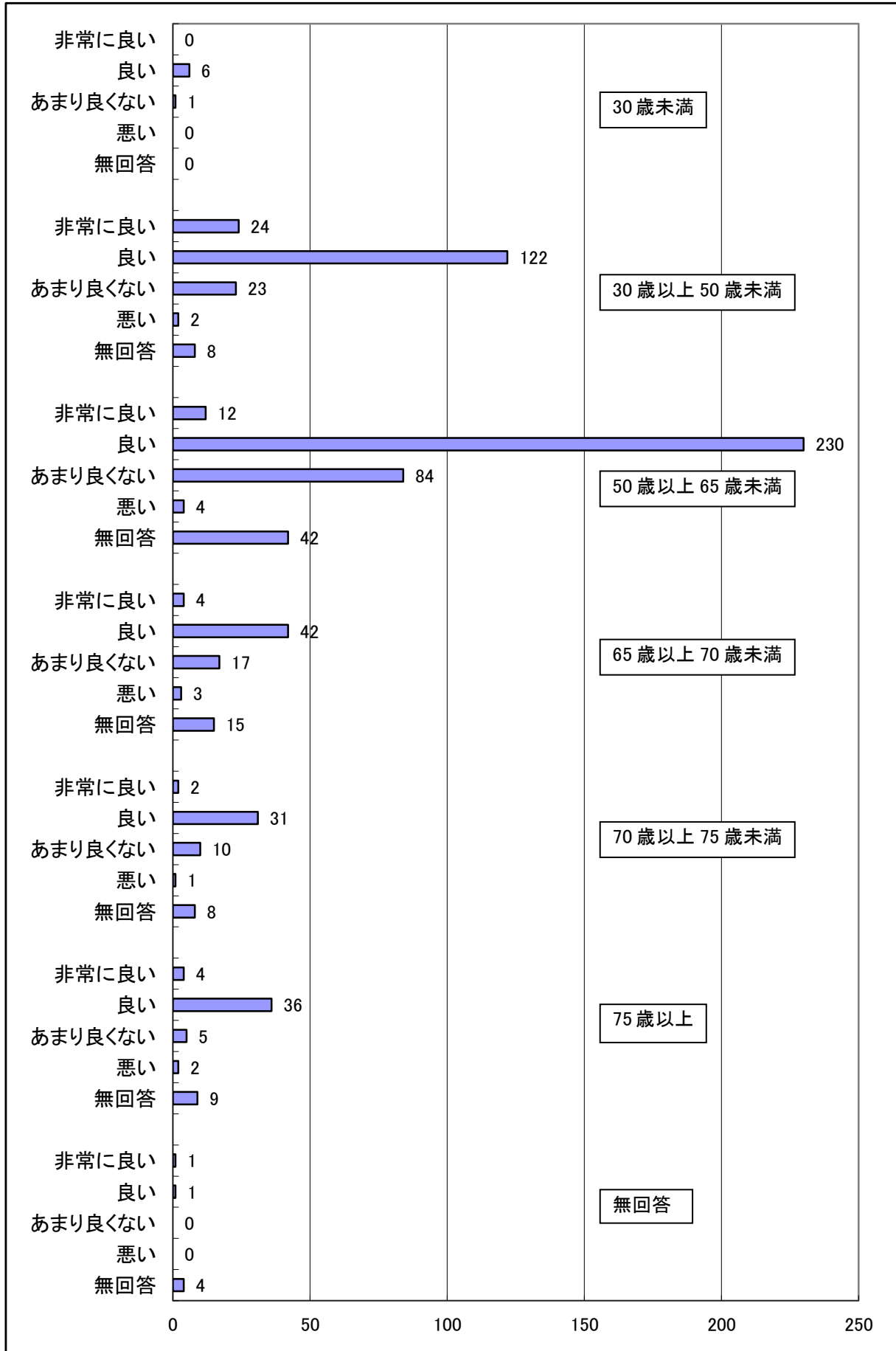
問 7-5 学区見守り活動(小学生の登下校見守り)について



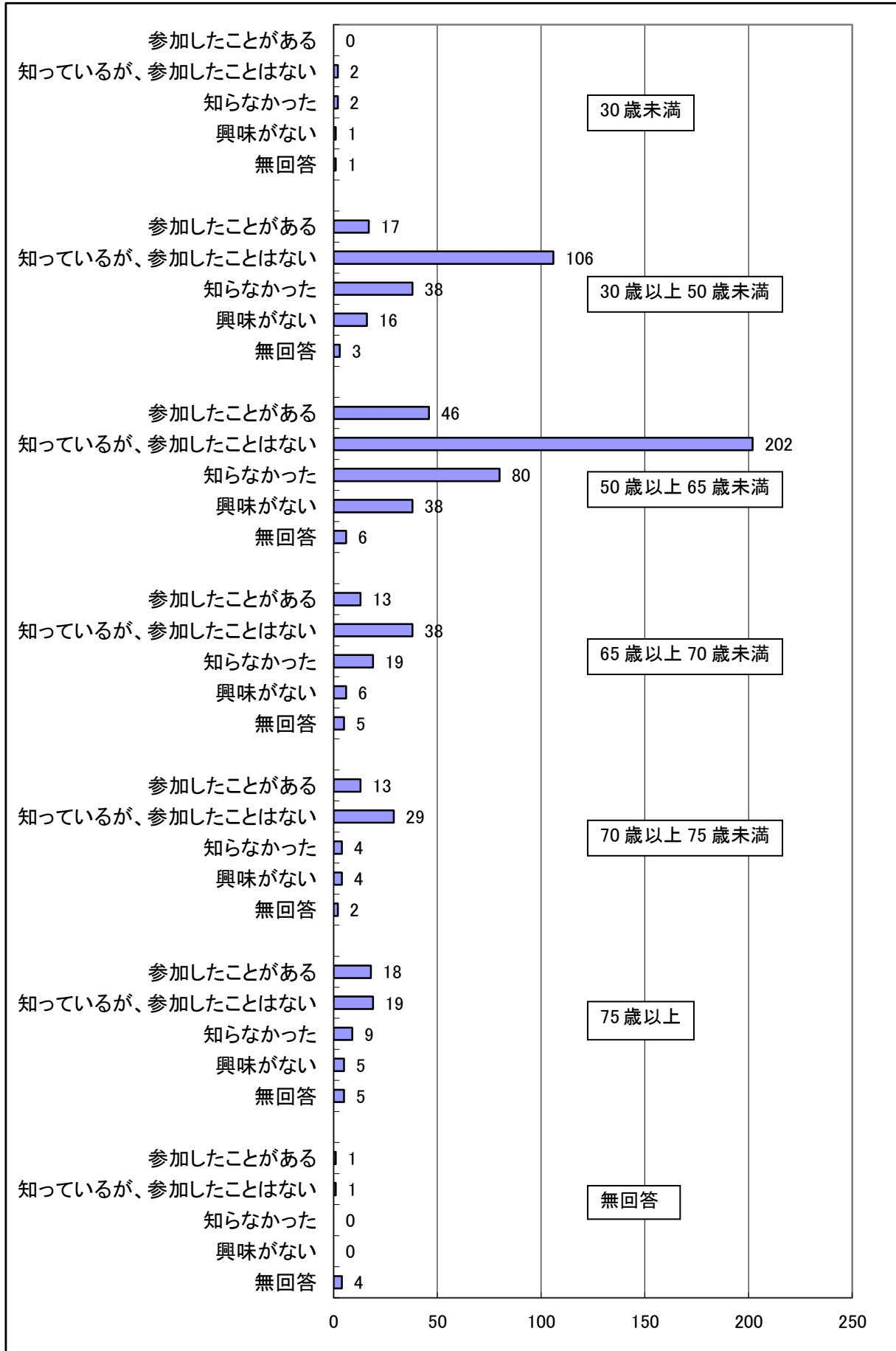
問 7-6 敬老のつどい(敬老会)について



問 7-7 地域活動・ボランティア活動について

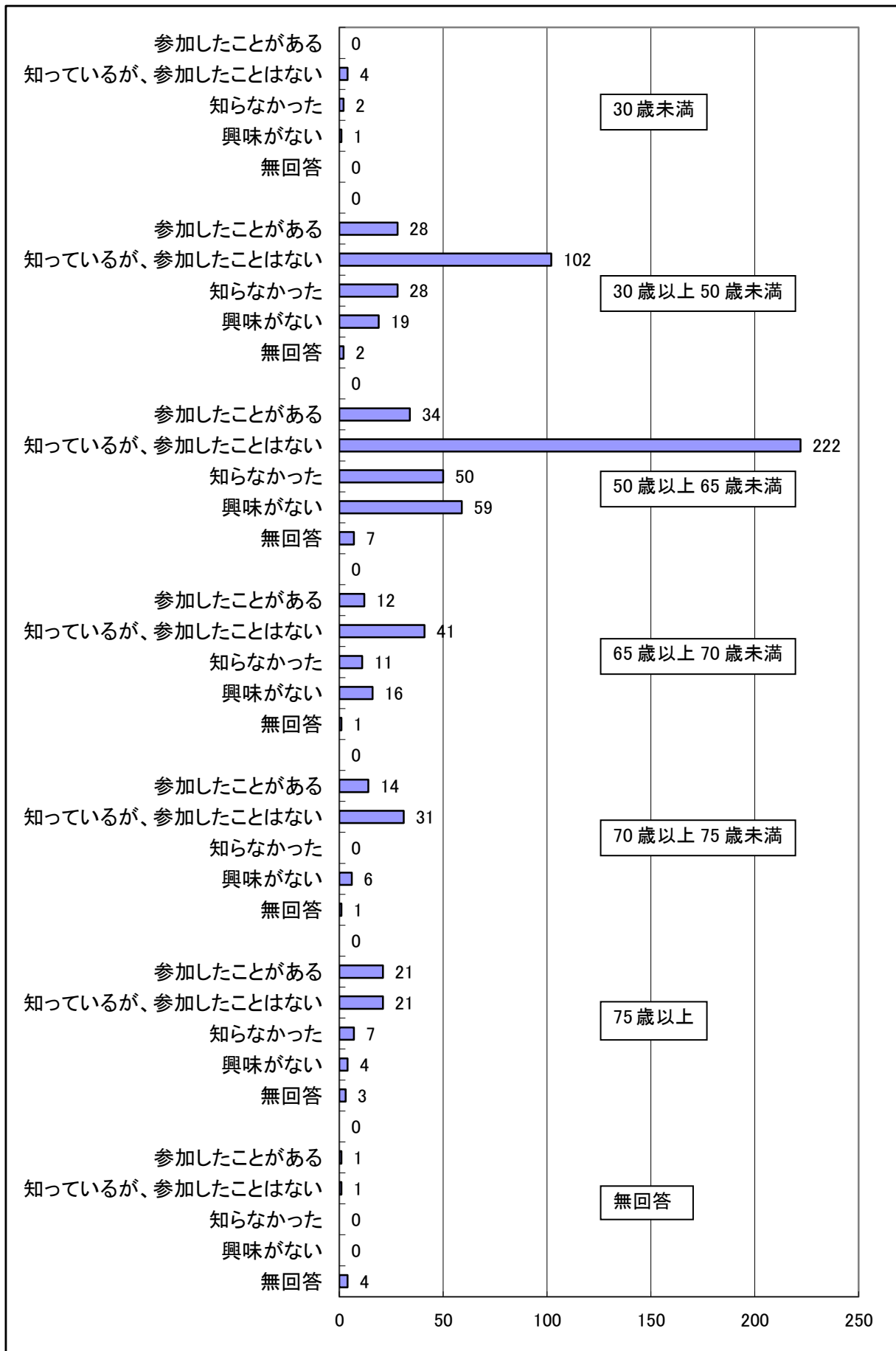


問 7-8 福祉を高める会、各自治会福祉会について

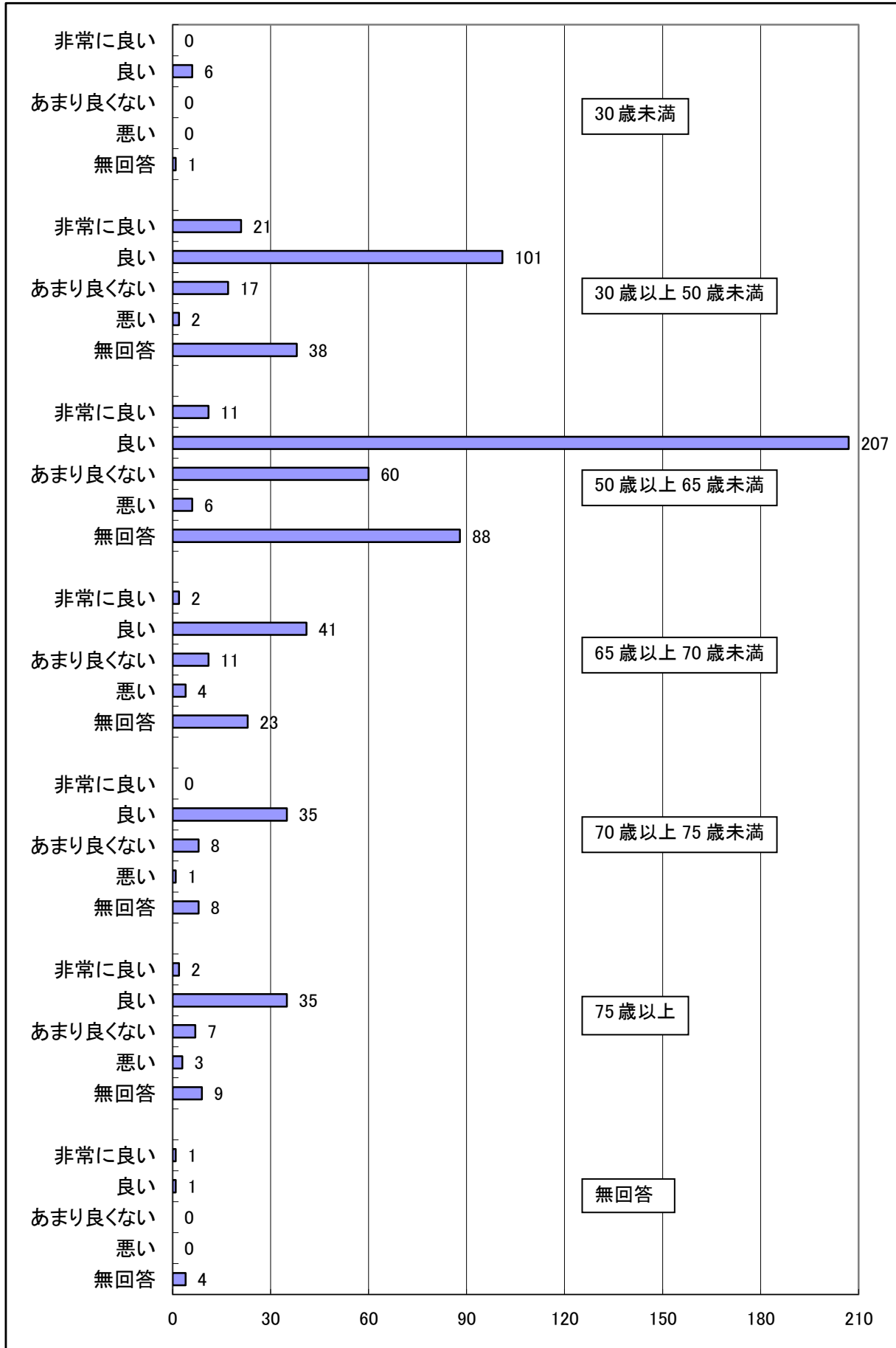




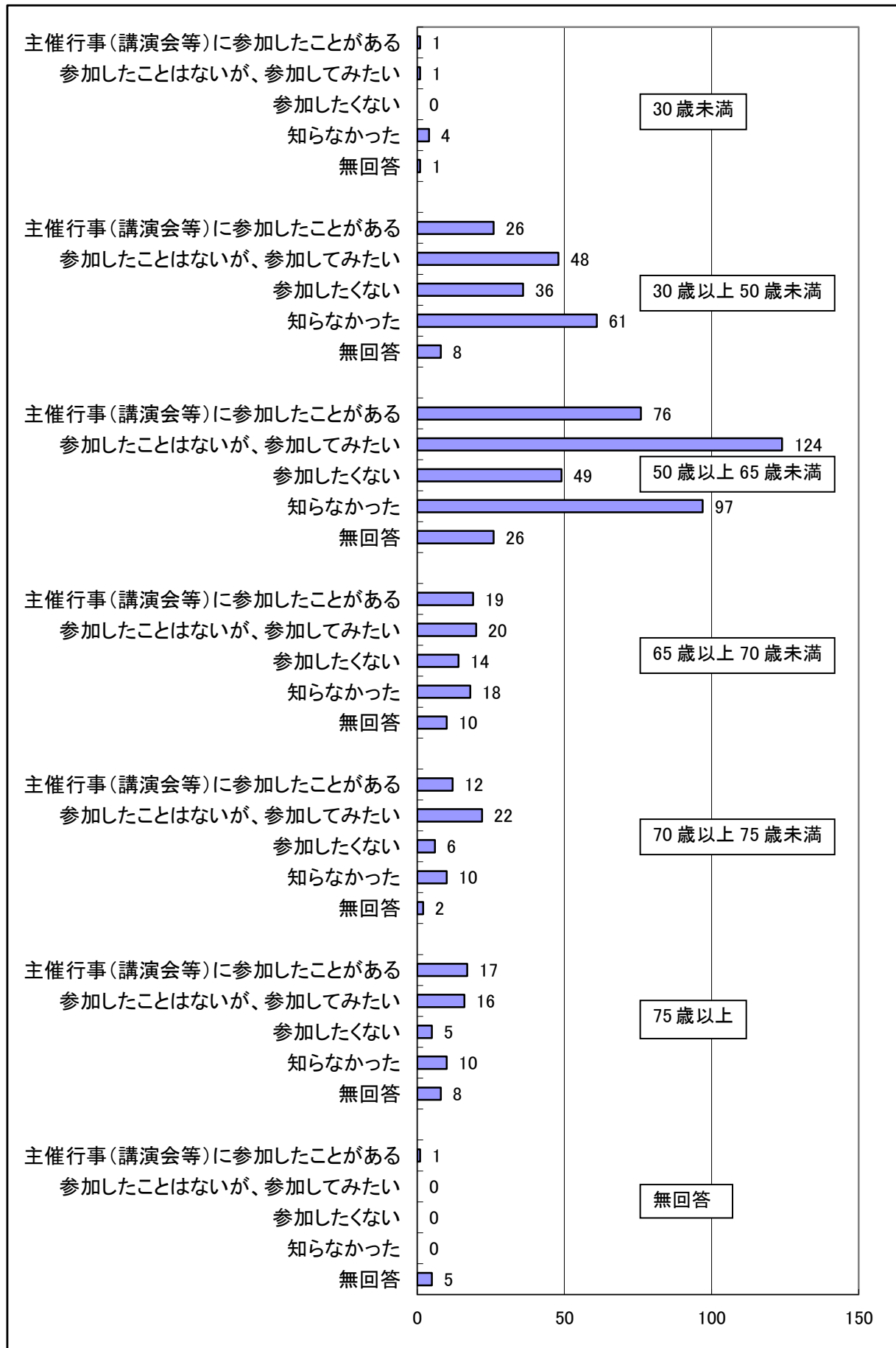
問 7-9 福祉を高める会、各自治会福祉会などの行事(いきいきサロン、子育てサークル、三世代間交流、秋のお話会など)について



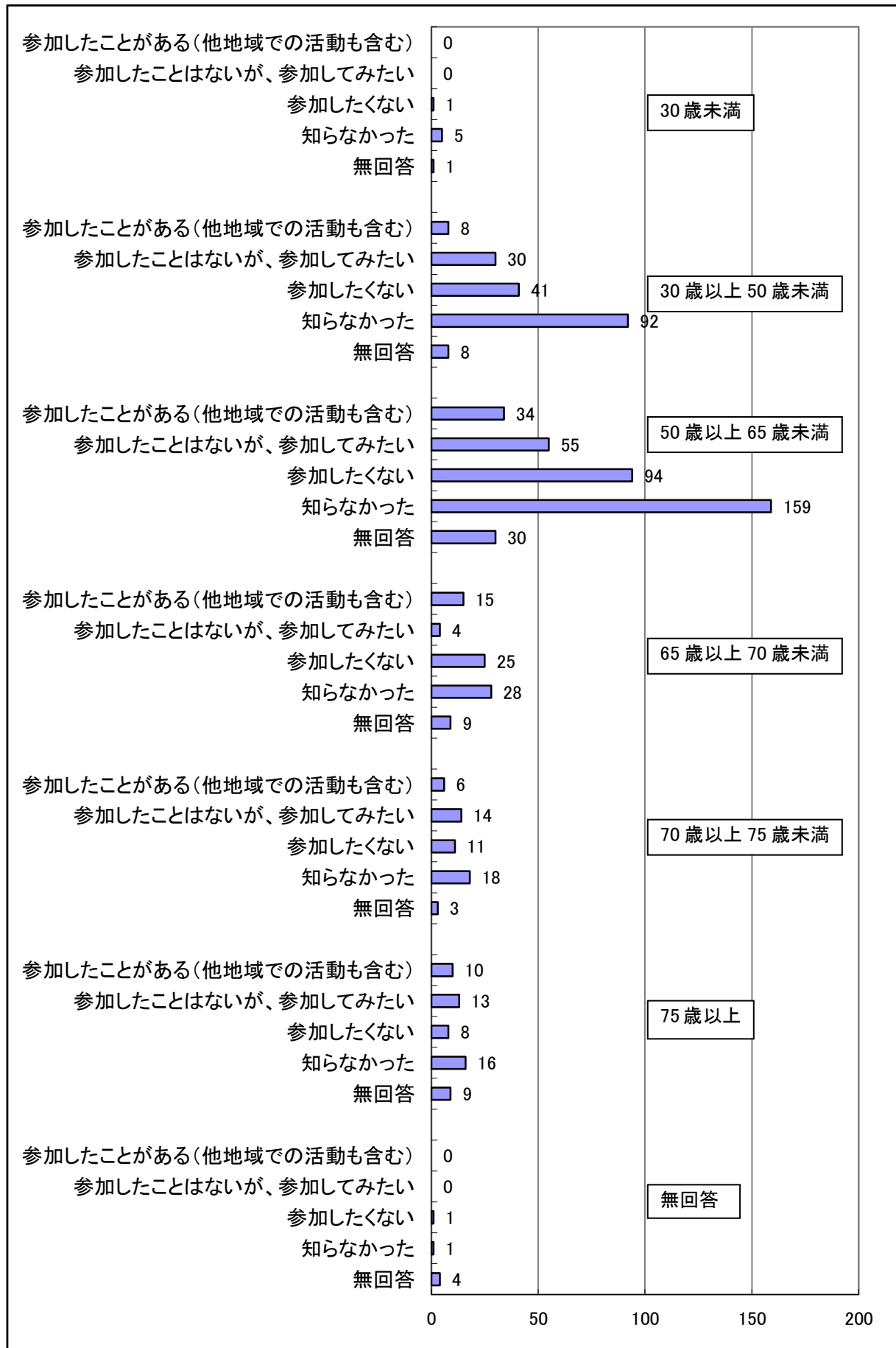
問 7-10 福祉を高める会のボランティア活動について



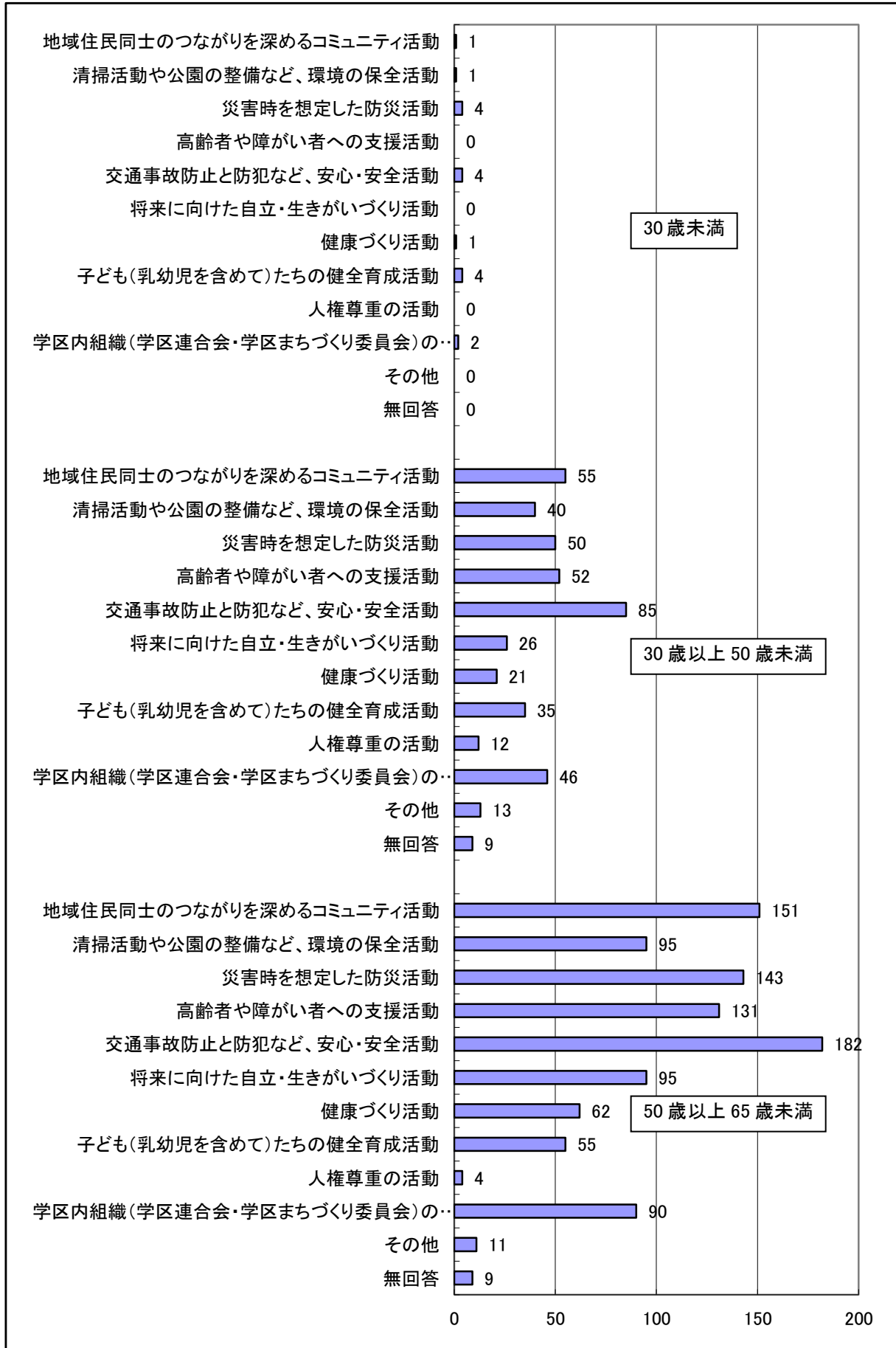
問 7-11 自主防災会の活動について

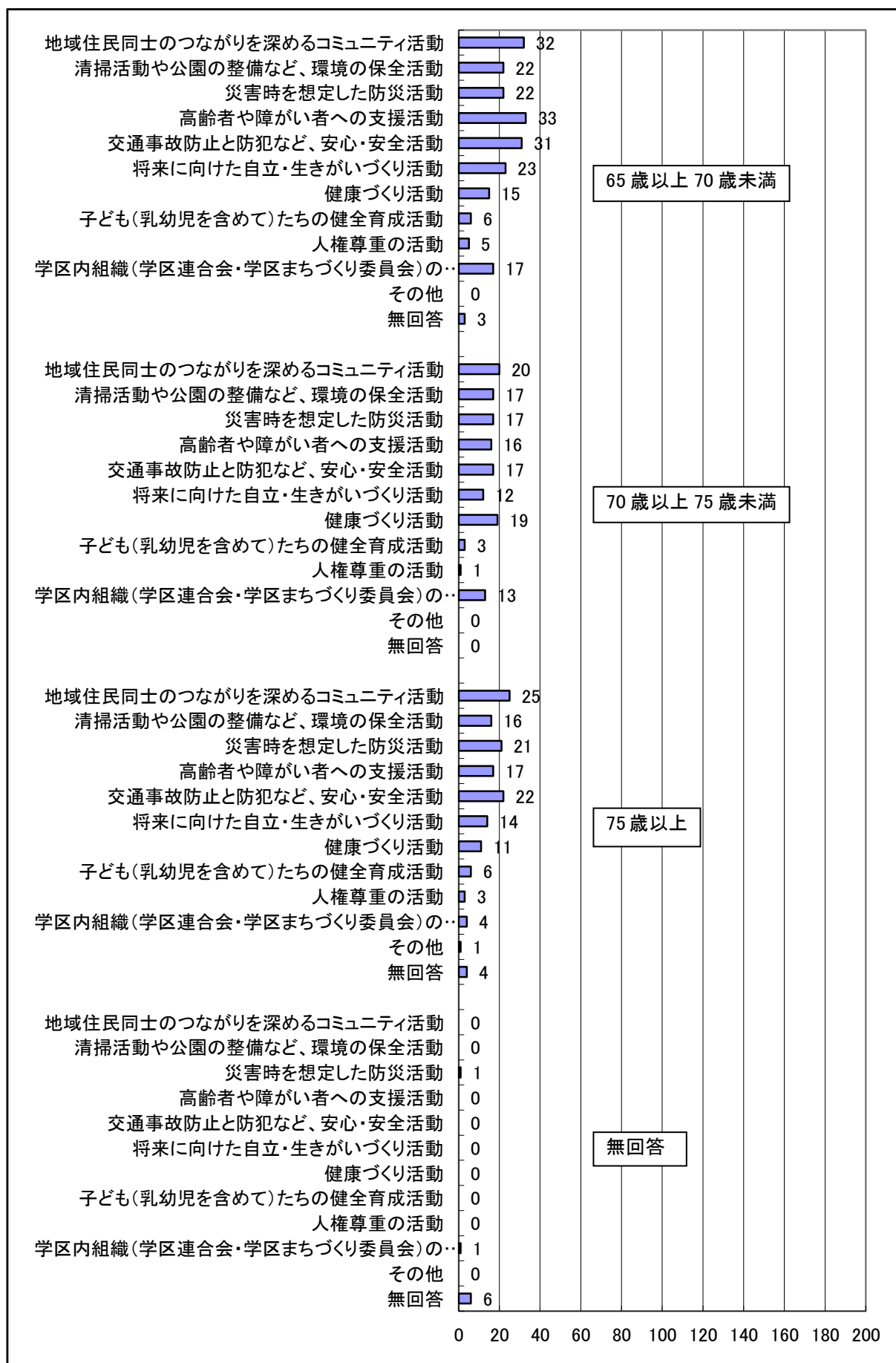


問 7-12 明王台学区内の消防団の活動について。



問 8 これから特に重点をおいて取り組むべきだと思う活動を、3つ以内で選んでください。

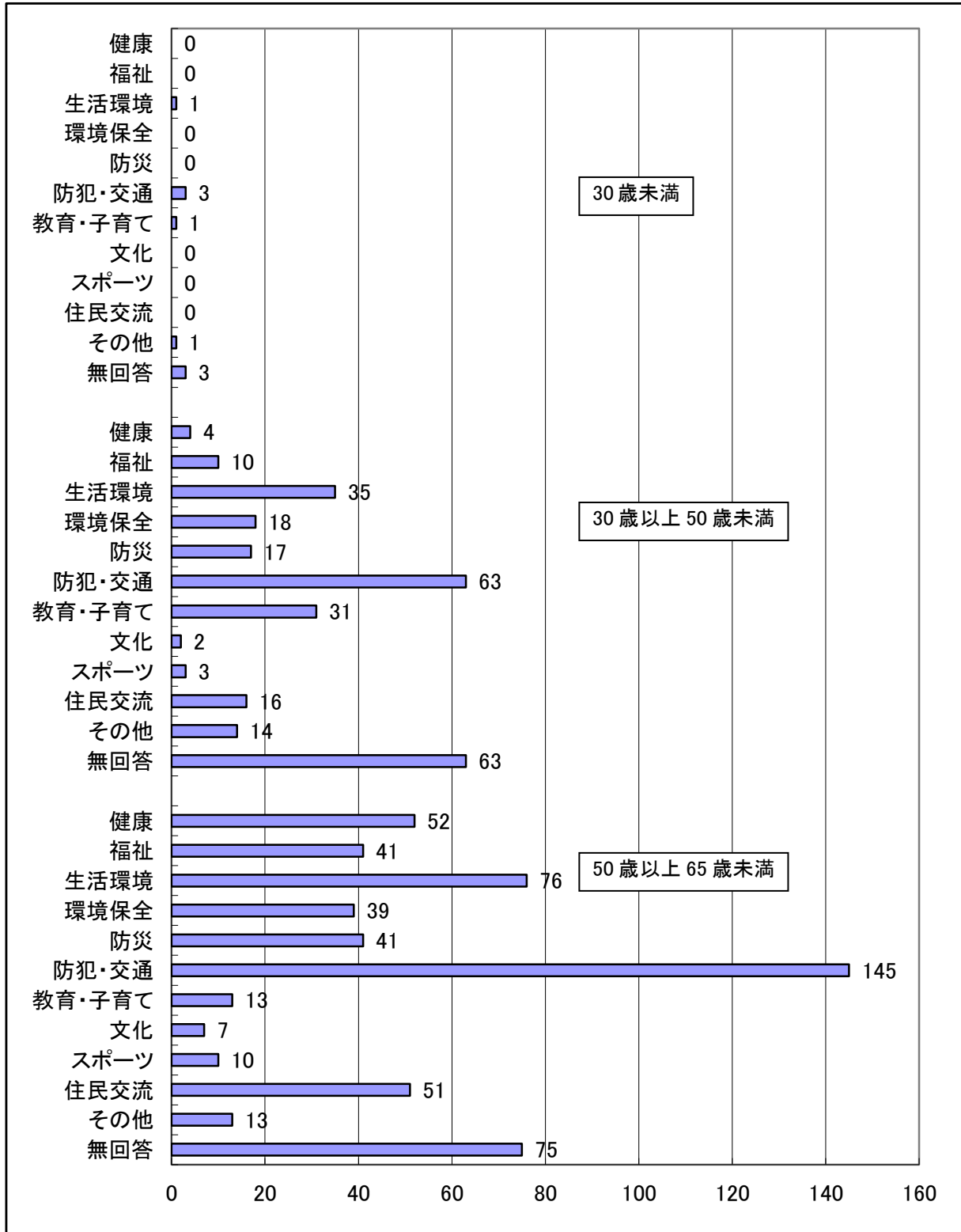




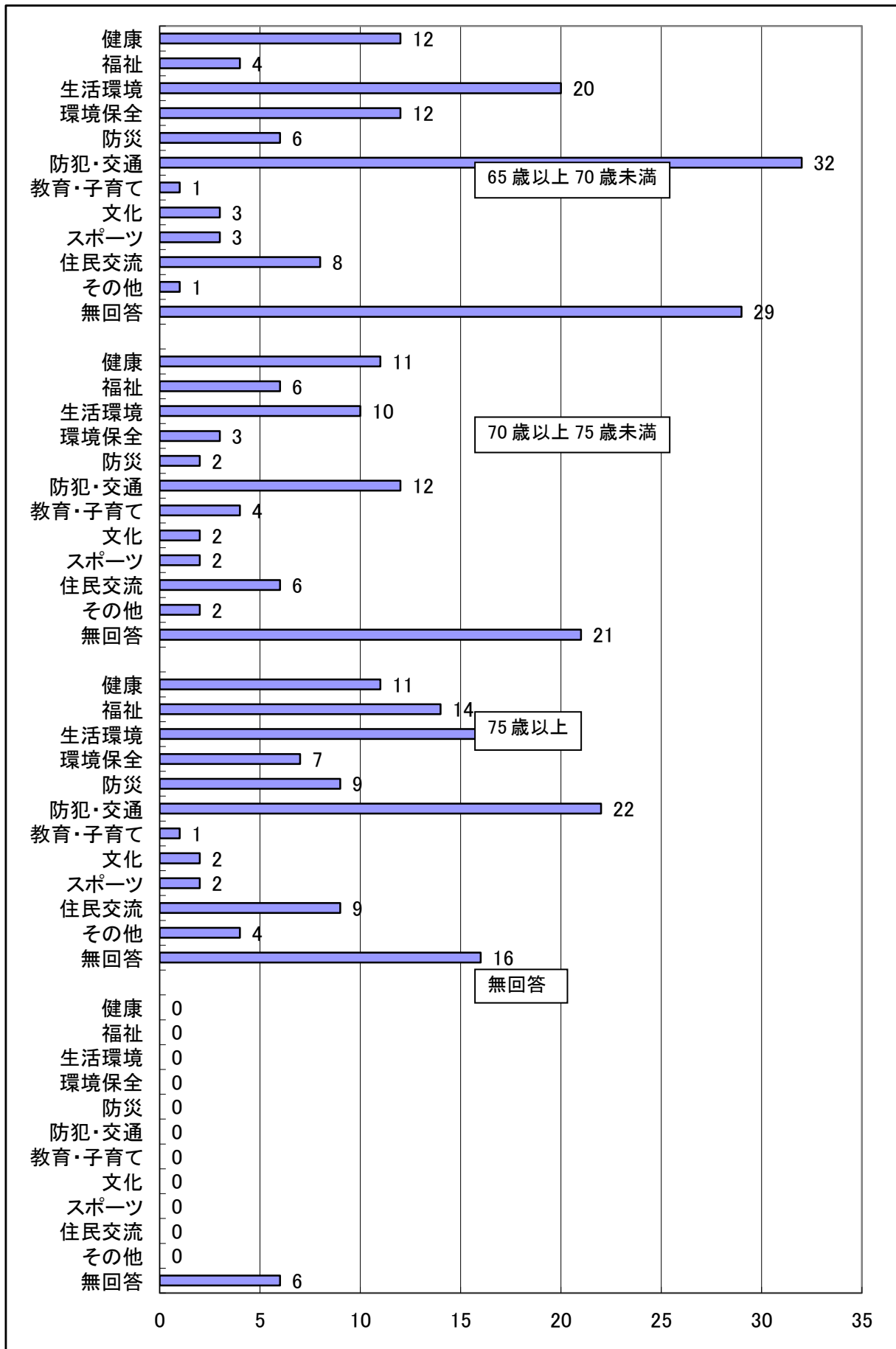
## ※その他

- ・不要な組織が多すぎる。(同意見 1 件)
- ・行事が多い。(同意見 2 点)
- ・高齢化が進む中でどうしたら「あの街は明るい団地だね」と言われるようなカラーを出せるか。他の地域の人にも明王台に行こうかと思わせる明るく楽しい街造りは何なのか？住民参加型の企画を。私もやりたいと思う楽しい企画を。高齢者にとって今日を生き抜くために。明王台は個々の人たちは素敵な人が多いので、その人達がまず線となり、面となって住民全部を巻き込んで楽しい団地になれば幸いです。
- ・市内で女性会そのものがない地域があります。男性会は以前からない様なので、組織の再構築を考えた方がいいのでは…。
- ・学区連合会は2年で役員が変わるため、スケジュールをこなすのが第1の仕事で、2年ごとに終結する。活性化などの審議をしにくい。名称どおり「学区まちづくり委員会」の方で今後の方向性など、リーダー的組織で良いまちづくり活動を期待します。

問 9 あなたやあなたのご家族が現在最も困っていることや問題点(地域課題・生活課題)とその解決案について記入してください。また今後、学区で取り組んでほしいことがあれば、ご提案ください。







## 【1 健康】

- ・自らの健康管理がどこまで出来るか。困ったとき、近所の方がどこまで手を差し伸べてくださるか。
  - ⇒自分で解決できないから問題提起しました。答えが見つかれば質問は無意味です。このアンケートの早期解決策に期待いたします。
- ・病院がない(車のない人は困っている)。(同意見 6 件)
  - ⇒病院の誘致
- ・町内にデイサービスがあると良い。
  - ⇒一般の住宅をリフォームして運営している例もあるようです。そのような企業を誘致できないでしょうか。
- ・スポーツセンターの充実。高齢者の健康維持のために公民館等を利用して欲しい。
- ・坂が多く住みにくくなってきた。
  - ⇒そろそろ転居を考えた方がいいのかと考え中。
- ・高齢化が進んでいる。
  - ⇒ひたすら健康に暮らすことを心掛けています。
  - ⇒(テレビで見たのですが)トイレが近い人が地域のサークルで体操に取り組み、治ったとか…。高齢の方の健康維持に繋がるサークル活動を行う。
  - ⇒年齢層にあった取り組みを行うべき。

## 【2 福祉】

- ・買い物等で困っている方等への対策。
  - ⇒学区内専用巡回バスの運行(一つの案です)。
- ・ボランティアの活動内容を広げて欲しい。歌を歌おう会、演奏会をしたくてもしにくい。
- ・歳をとり、車に乗れなくなると自分で移動できない。(同意見 2 件)
  - ⇒町内循環バスを運行する。タクシーよりも気軽に低料金で利用できるサービスを開発する。(何らかの組織からの費用補助でタクシー会社が運営するのがベスト)
  - ⇒バスの運行を増やして欲しい。
  - ⇒明王台を去らないとどうにもならない……
- ・町内で高齢者が無視されている。
  - ⇒まちづくりの福祉の役員や自治会の役員は1ヶ月か2ヶ月に1度くらいは高齢者や障害者の家の訪問くらいしたらどうか。よその町じゃ弁当持ったりしてよく訪問しているが、明王台はなにもせん。

## 【3 生活環境】

- ・年金暮らしなどで銀行や郵便局を使う場合が多いのに銀行がない(車のない人は困っている)。(同意見 1 件)
  - ⇒広銀、中銀、もみじ銀のコーナー設置
  - ⇒オンリーワン周辺で銀行 ATM を再度設置して欲しい。
- ・商業施設が少ない、日当たりが悪い。

- ・生活に必要なお店が少ない。  
⇒交流ができるようなカフェやレストランがあればよい。
- ・瀬戸町では猪が出るので、家のまわりにネットを張ってその中で生活しているようです。明王台でも猪が出ています。指導・対策をお願いします。  
⇒猪の出た場所を知らせること。通学路に出現しているので危険。餌場を作らないこと。
- ・夏の夜、暴走族がやかましい。

#### 【4 環境保全】

- ・明王院が所有している森林がフェンスを越えて電線にも掛かり定期的に剪定して欲しい。  
⇒明王院へ定期的に手入れをしてもらえるように要請してください。
- ・街路樹が落葉樹なので秋になると掃除が大変です。下の方の道路を市の方が掃除しているのを見ました。上の方はされてないのは、その近くの家の方がしなさいという事なのでしょうか？大変迷惑です。毎年毛虫もついて大変です。  
⇒今更ですが、常葉樹にして欲しかったです。
- ・ゴミステーションの利用のあり方。定められた曜日以外に該当の物を置く。ステーションボックスは町内会会員以外は利用すべきではない。
- ・犬の糞が家の周りなどに放置されたままになっている。(同意見 1 件)  
⇒モラルの問題。本人には直接はいいにくい。どうすれば良いのかわからない。  
⇒町内全体でキャンペーンを行い継続する。チラシ配布。標語を作り、町内会のチラシの全部に入れる。半壊で話題にする。
- ・雑草の除草  
⇒一斉清掃の他に町内会費をあてて、業者・シルバーさん等による月 1 回または 2 ヶ月に 1 回程度の草刈作業をする。

#### 【5 防災】

- ・何かの時に行く所は小学校？高校？その程度しか思っていません。私のような人が多いのでは？声をかけて助けてあげる高齢者の方も班の中しかわかりません。何かのかたちにしてわかればと思いますが、防犯上の問題もでてきます。
- ・地震や台風、災害が起こった場合、家族だけで行動するのは不安です。
- ・避難場所は？  
⇒避難場所の表示と救援活動の検討
- ・避難行動する際の判断基準、避難場所の設営・運営への協力  
⇒住民への周知・訓練  
⇒防災に関しての実践的なワークショップを開いて欲しい。

## 【6 防犯・交通】

- ・空き巣や不審者の話を耳にします。(同意見 1 件)
  - ⇒ゴミステーションに掲示板をつくってはいかがですか？自分でも気をつけているつもりですが、全体で取り組むべきだと思います。
  - ⇒変な時間の犬の鳴き声は防犯に繋がっている。(具体例あり。)他家の犬の鳴き声が聞こえるのは、近くで何かあるのではと思って、電気を付けるなどの対応をすると良い。
- ・交番がない。(同意見 1 件)
  - ⇒交番の誘致。学区内の警護に当たる。
- ・住宅団地であるため角に家が建っており見通しが悪い交差点が多い。雪が積もると交通が遮断される場合がある。1 丁目とイーストコートの間を車で通過できない。バスの本数が少ない。横断歩道を横断しようとする歩行者がいるにもかかわらず、止まらない車が極めて多い。坂を下る自転車が早い
  - ⇒カーブミラー・一時停止標識を現状より増やす。
- ・節電の関係もあると思いますが、街全体が暗いので(街灯の間が長すぎて)歩いている人が見えにくいし、不安が大きい。(同意見 3 件)
  - ⇒聖橋から、近大側から、草戸側から登ってくる道路の街灯をまずは明るくなるように出来ないか。
- ・街灯を付けて欲しい(シャローム幼稚園近くのゴミステーション)。山際の四つ角で暗くて怖い。
- ・健康のためにウォーキングしている人、ながらスマホの高校生、自転車の乗り方、安全のためにもっとマナーを守って欲しい
  - ⇒せめて人の姿がわかるくらいの街路灯を設置してほしい(LED ライトの活用)。
- ・明王台から王子原池に突き当たる入り口に街灯を付けて欲しい。
- ・中高生の登下校時の交通マナーの向上。
- ・自転車の飛び出し、スピードの出しすぎ。
  - ⇒家庭・学校での指導
- ・中央車線をはみ出している車が多い。
  - ⇒中央白線の修正
- ・防犯カメラの設置。
- ・通勤・通学時の防犯・交通。
- ・路上駐車が多い。(同意見 4 件)
  - ⇒モラルの問題。本人には直接はいいにくい。どうすれば良いのかわからない。
  - ⇒巡回車の強化をお願いします。共働きの家が多いので、地域みんなが注意しあうこと。隣近所への声かけ。時間をずらした巡回車の強化。町内で回覧をまわした折、少し良くなっていました。時折路上駐車にお互い気をつけようと回覧するがけでも、良くなると思います。
  - ⇒回覧を増やす。パトロールを増やす。
  - ⇒ビラの配布。
- ・中学校の登校時間は明王台から出る車が多く、自転車との接触事故がおきそうで不安。
  - ⇒学区からもヘルメット着用義務化を申し入れて欲しい。明王台高校生も帰りはスピードを出すため、高校にも申し入れたらどうか。みんながかぶれば定着しやすいと思う。
- ・メイン道路以外もスピードを出して通行される。

- ・雨や雪の時の渋滞。(同意見1件)
- ・バスの最終便が早すぎる。
- ・雨の日の明王台高校への送迎で渋滞がさらに増す。  
⇒送迎後は瀬戸方面か佐波方面に行ってほしい。
- ・空き巣など、まだあるので、防犯の徹底をしていきたい。

## 【7 教育・子育て】

- ・小学生の児童数激減していく中で、子ども会や自治会・地域の活動の多さに役員をしているとどれもこれもかぶってしまい、しんどい。  
⇒学区内の行事をすべて見直す。少子高齢化が急速に進んでいます。20年前とは同じにはできないです。縮小できるものは縮小し、守っていくべき行事はきちんと続けていく。
  - \* 合同運動会の午後からの部は学区民のものなので、小学生だけでなく、明小を卒業していった中高生や明高の学生にもどンドン声をかけ参加してもらおう。(小学生が少ないので競技に出ずっぱりでかわいそうです。)
  - \* 敬老会やとんどなどの行事は小学校と連携して地域で盛り上げていく。
  - \* 子ども会の役、クラス役員、自治会の役員とたくさんかぶって大変です。子育てが一段落世帯にすすんで自治会の役員をとってもらえたらありがたいです。
  - \* 学校の先生をされていた方がたくさんいらっしゃると思います。小学校の空き教室や公民館を利用して、放課後教室を開いて欲しいです。
- ・インターネットで大学の講義が誰でも無料でうけられるMOOCというサービスが始まっています。公民館の図書室等で同様の事ができないでしょうか。
- ・小学4年生から学童がなくなる。預け先がない。毎日、近所・同級生へはお願いできない。
- ・遊ぶ子どもを親が見守っていないので不安。  
⇒昔ながらの遊びを年配者から教わる。

## 【8 文化】

- ・孫の発表を見に行き行って覗いたがあまりにもお粗末。  
⇒小学校でどさくさにまぎれて隅のほうでちょっとするようなことなら、不細工だから止めろ。よその町のもんが笑う。
- ・文化的な催しがあり多くないように感じる。  
⇒音楽、絵画、書道、ポエム・・・など、こまめに展示、鑑賞する機会を設けて文化的な土壌を培えば・・・。年に一度の文化祭だけでは、その日都合が悪ければ、明王台の「文化」にふれる機会がなくなってしまう。

## 【9 スポーツ】

- ・スポーツに予算を掛け過ぎ。多すぎる。
- ・学区民運動会について。小学校と合同になり良かったのですが、競技数が多く、以前と変わらない。4丁目は人数が少なく、休む暇なく出場している。

## 【10 住民交流】

- ・住民交流が薄いと思われる。
  - ⇒2007 年ごろ今回と同じようなアンケートが実施されている。この中から、1～2 点検討されてはいかがですか？住民交流対策として、自治会活動の会報発行。
- ・何かあった時、ご近所と協力しあって助け合っていないと解決しないと思います。
- ・学区には古来伝統の行事がなく交流が少ない。
  - ⇒老若男女が集う会を考えて交流する。
- ・高齢者が引きこもりにならないように、地域交流を深め、街全体で助け合い、住みよい町に。
  - ⇒お散歩の会、お茶会、一人暮らしの方の安否確認
- ・子どもがいるうちは PTA などで繋がりがあったが、育てあがった途端、一斉清掃くらいしか会話する機会がなくなった。
  - ⇒住民交流の「カジュアル」な機会があれば。「どんな風に交流したいか」「そもそも交流は必要か」などのテーマで話し合いの場を設けることから始めては。
- ・近隣住民の声掛けが大切と思うが全然ないし、何か大きな災害がないと協力しあえないのか。
  - ⇒毎回の行事には何らかの方法で出席できるような対策が必要。

## 【11 その他】

- ・班の人数がばらばらで役の回数に不公平がある。年を重ねてくると役員も負担です。不安でもあります。
  - ⇒班の人数を平均的にする。
- ・自治会／金は払っているが何か街が良くなることをしてくれているか？
  - ⇒自治会は決めるだけで守らんし市役所や市議員の言うことだけするんなら、自治会費を払うのがばからしい。自分らの街のことを考えて仕事をしてくれ。
- ・明王台学区自治会の役員が何年かに1度回って来るのが、年を重ねてくるととても負担に思うので、なんとかならないかと思います。
- ・このアンケート／選択肢が「参加したくない」とあるが、選びづらい。
  - ⇒「参加できない」とか「知っている」など、中間的なものが欲しい。

以上

明王台学区まちづくり計画  
「つながろう明王台！」

2016年7月発行

制作：明王台学区まちづくり推進委員会  
委員長：寺岡 稔博  
福山市明王台公民館内  
電話番号：084-952-3511

